一分朝師神宮御祭拜の被市

間を減べて各限期の網解を求め更

田外

÷

內 陸

永 野

海相

に旅館提出法律案につき各開席上

本日 (二十四日) 新聞派上に名 新貨融止の方針が行政機構収革 の一つとして決定してゐるかの 加き記事があるが未だ信でかか 加き記事があるが未だ信でかか

整本職係の法律家は勿論提出す このが登場の気は使含べく通常議會に 関係の外は成るべく通常議會に 関係の外は成るべく通常議會に であるから繋沫やひを得ざる法 であるから繋沫やな得ざる法

脚凝瞭における周田自相の胆認方記を進べ総後に駐評許足官長は特

健敬高等官(二等) 健軍技師 火山希臘

・ 新鮮親倫所の管理に属する官 五、臨村政債整理組合法中映正法 ・ 新鮮親倫所の管理に属する官 五、臨村政債整理組合法中映正法 ・ 四、 正確は無統制法系

藤原に提出するやうにしたいと云 よび見が大線を占め大いで水田桁

との認言もあったが結局既に豫定一戦の演乱音楽を囲歌した。これに 一般領した たが結局は後の決定は二十八日の 對し各開除より配と意見が附出

ベベルル

下の盟迫る

清雄兩港施設を

満銭に 無償貸付 けるの閣議で勅令案決定

に集中し端州に入るため、雄忠脈 る

府御路和清み)

五分部底部部出進、耐九時 における年数常に高限あらにおかせられては午前九時 間十一時三十五分過暫官歌 表川個人城中の三五宮屋下宮町は、朝野場賃付卸見学、 例的集司令部上四日正生後 面伽服眾、同九時四十分種 三笠宮殿下 朝鮮神宮御参拜

陸連絡設備を開路に對し無所を以 に於て朝鮮の雄雄・前津闲池の海

閣議決定事項

【栗京市で」間点決定事項左の如

操機せられたる唯約案に第一つに別ノー・別と見る中央の指導・イルの所能療法とるエチオピア第一十八回 - 機能労働総督にお イルの所能療法とるエチオピア第

御島県は三霊宮殿下「上)朝鮮神宮にて「下」 度會機附近(液蓋岩高度領先導)にて謹寫

のため國際條約を公布の件「優、猥褻市行物流布及び取引群山 省官制中欧正の作

賃付すべき動台決定を見たが行 に清潔は福祉経々さびれる傾向を

町間たる意ははイメリー軍全體に

とを助し他学を制に生水火的共食 の難殺を意いである。前して青ナ

のた關係上旅客は物が大部分編建一め無償賃付するに至ったものであ

【東京電話】二十四日の尾側歌語 | 住遊來難跳が崩滅の登埋となって | 辿ってあるためこれを敷縛するた

ザベバ城下の盟ひを自建に強いて

山の垂直面にはメキシカ出身の

将士が 手分けしてのな

撮り制御部隊以外に上西沿無一作 将七自身もムッソリー二官形の意 全力をかけてスリー軍

一概地帯に協拓工作の中心とされる 成に個は復画源の先齢部たらんことの文字が創まれてある。なほ北を放して破るべく上立して重用所、「新なことは良く非常らん」 等はこくに良く止まらん 関下は我等をこくに導けり、我

【ゴンダール二十二日電池】アギーアナ湖に燃んで変え立つ嬉しい岩。部エチオピアの端膜には微セポー | 杉内部印刷層長は在仕久しきため が著々牧められんとしてある 【東京電話】川久保意源局長官: 開始されるオーテ献 局長更迭 資源印刷兩 ることに決し、十四日の強能でを 今回後他に途を納くび場で興息す

雄大な全身體を削み上げその下の をかるつてムッソリーニ首相の

スチナ騒擾

町上に釘を歌伯して交通が驚をなるがヤファでは並所に小頭合題症 とよ響質験の手で做重響液中であ は全く社能するに至ったので東市 プラウイウ、ヤッド間の交通通信 とニダヤ人の劉立范野盗々機体し「声官感はその騒漫化を恐れ版成中 日同盟 回歌徒 らブラビヤ人の所能日でテラヴィ 放火、暴行起る

も、火曜館の立場は日底だとの はれる有志の劉祚朝に出歴してを木行忠侯・屋打戦々として行 政族院が革の音頭取火曜宵の佐 のや「いつ

防デーを實施 ― 意義なしとせ

海軍配念日を中心に、結核繁 天地立黄

植林地が共に舞き腕はれた。ヤフ

との影行が行ばれてゐるが、ヤフし自動與金種重景風に放代するた

たい自分ら

ある』とて、戦の悪退者に乗り、『人間の第虫も駆除するの要が

行きはなど、

管でドイクで実虫機能協能が

くさすがにつ

のテラヴィグに向つて遊離しつ

のユダヤ人は刻々五キロの道程

り、一九二九年に配事件で育名

氏はエルサレムに避難しアクレ

ヘプロンでは官政の命により

ナツク艦隊、結核、バチルス撒

半島民衆の健康を脅かする

ばるぶり出しなども見たところ つりるりまずからえ、たとい れば佐々木侯「同じ日紙でもい

書、各都市に於てはユダヤ人自

の国教徒の一番後継が顕行され

ファ 在住アラビヤ人は慕陽楽を

都市に避能方を命ぜられた、い

レスチナ事

瀬族國境問題解決策への第一

そつとして置からり

佛語てるに描い気がした。雲を見

一呼んでおいでなさ

- 1-8-2の「鯛の部屋へ、自身も出て来た。

態信には、肌の害が愛されて、

運動の中、地であり形平部であ

件死傷者百餘

本日朝夕刊十六頁 一番日迎々、温長にく

歩、踏み出されたぞうにも見え





日獨同盟の亡靈=

恩京電話】もう下火となったは 退散に妙案 日獨通商戰一覽表の作製

相(灣)會議設置決定

子り 多 百 音 医见 人 付養機能 介之三均小 人 謝 日 日丁一種学太清練家 社報日城京 監會提合 新行器

鮮誠治賦況について上奏配を 天皇陛下に理謎即付られ、別廿四日午前十一時宮中に参内

東京電話】宇垣朝郎謁費は

總督夢內

毎週金曜日の閣議後居残り開催する

必要ある毎に首相も出席

が無頻をは言み振ちにするといが浮ばない 製作が御本人の影論から世界」は正に豊富館立場にある、世界質がある資本とする立事に於て表節的には同じ、財職はたちそれだけではなくドイルとドイツとはその國際政局に、財職はたちそれだけではなくドイルとドイツとはその國際政局に、財職はたちそれだけではなくドイッの方が遙かによびにあり、べん録し、十一ところで現在日本出郷戦も日本よりもうんと参い。 本とドイツとはその國際政局に、財職はたちそれだけではなくドイツとはその國際政局に、財職はたちそれだけではなくドイツとはその國際政局に、財職は日本語記をは、大田の政策を対している。 ◆……即ふちョーロッパに引

山之たのし

が省もほとノーキを焼いてゐるや 上放送され出したのには日本の外 った、しかしからいつたデマル

源地となって世界

は正に豊富版立場にある、世界質しかし経済版に見るとき日獨南國

であるー

机にふる雪(四)

も政治的交渉は何もない

に頭をひわつてゐるが中々に名案一を回避してゐる關係上當然ドイツ し日本は政治的に劇心を示す

総で左記九法郡案を撤録に提出す【東京電話】戦府は二十四日の閣

で、外俗省の高級役人造は英面目

信じ込まれてしまふが混があるの

うちには何時の間にか真人に

で、それからそれへと眠へられて大臓に吠えて喜犬質を思ふの類ひ

提出法律案決定

ることに正式決定談前提出の手指

奥北则梁栋式剪社法案 東北振興電力育社法案

拓務省参與

設置官制案決定

を聞くための目籍以正案は二十四一敗名を参興として選び拓拓局内に 【東京電話】拓務省に新たに参與一八融、商工の輸館各省物任版より あつて外部がに崩壊方面との連絡 **東法制局参事官**

仕內陸中湖南後 二等

つて來たくの健康、海東、外海、 を設定してあるに過ぎない

月の閣談に伏て決定を見たが今回 の敗正主言は海外移植民和領事力

暫定的「無田中のところ職事重要 問語工省に務局長り四可吉氏を此 用することとなり二十四日の開歌 で決定融合された こうにお 次省内人類劇頭を開 【東京正語】小川面相は認識を削 たが特市局長官は吉世次官が

意氣軒昂のイタリー遠征軍

宇永久施設を始む

暦で省下務局長

田特克局長官(一等) 田特克局長官(一等) ing Fi 個次 「願寄日待塞のこと、申は敷月莊(京城南田公園栗水

免特許局長官

◇島山東拓總数 廿四日入城剪鮮 > 交流部が直長 サエ日午脚上時四一次矢端登組跡合質長 東上中廿七日午期二時五分着で路城

城中世三日東京へ **企帶同廿四日入城朝鮮ホテル** ・ 一 年 日 日 子 大 日 子 小 一 年 日 子 小 一 年 日 子 小 一 年 日 子 小 一 年 日 子 小 一 年 日 - 1 年 日 又炭炭さ小屋へでも入つて、新し こと敬いた祖のこはれ書に過つてい

も 感じてゐな い感 肺の生活よりるらしい抑寒もらけなければ不平 配所にあても、かしも配所にる こんでしま うたので ございませ 西がは、間をいそめ 「怪我は、そんない ともいちど、手 困つた難して

「礼ばかりかばまでもちゃっ夜学 して下さい・備除いたしませう つてをります、すとしお立ち遊ば「お師さま、お桃の喘に雪が潰も き」解けねば上いたがになる。 を、態信は心のうちで と、微笑まれてゐた。 「一一一一 をかけたくないと、 「申しわけこざいま だが、その壁はすぐ、 「どんな様子がや」 「なぜ、わしに歌つ は…はい 一生信房が住我を一 富人が申しま たといってを

重應い 能のあるタ 善信の耳へ 聯 源 こ回の血液の影響は変形 語。語界座談會 贬 催武士夫 將於 国にの人

- 82 と紙型の大物

一般かことに歌歌斯してゐるのみッ商品は日本商品を中質米から密 は正面から衝突してゐる、しかも 指し、殊に劉支武器に於て日本と ならず、他近は東洋市場観測を目 **敗東北級奥事務局長** 内閣調査局調査官

知れないといふもの知れないといふもの知れないといふもの

と實現するかも。
中心した彼も、今では、まつたく
をださうだから、ものしオ世間の系列でし むかし木僧殿の猛将として三軍を

『恋いなう、今夜は』 と影内の動がいる

当信の出相をうけて、この配所で

と言ってすぐ。既

兼任内開東北極奥事務局是故の如比齊源局長官(一等)

西州がもどられせいよの

「那かな背ぢゃと思ふなら、まだ」

と、何類なく言うた

か。生信居は、どう

松井 潜生

スチナ艦漫事件のため死傷

パレスチナ間壁に限し廿三百午後一に、交いつも耐窓の緒なちを最は

十屋 翍

協議に當らしめるが墜原は差階り

特許局長官

竹内氏決定 預金利下はで 逃避は起られ

公司一座に見下げた木の頂金地を 半時各級行の預金里下げは が現は甲種にはなく、乙酸にも多 り変励されたが各金融機器とも 大體影響無

は起つてない、貸出率の引下げも 少器念される。けで目下の處逃跡 早稻田大學校友質新鮮支那香

貿別鮮支部、選結本局 荷生命京城支武内早裕

ゆきましたが、あの流氓な働号の「っこ」と、そこにゐた鷸は、嬰の師の

Mort

その時、豪客な繋が表の転下で、まいとする心がけもあつた。 『さうだ、町の高に開いたが、 「や、西郷どの、お嫁りなされまく上つて來たらしい。 信房が怪我をしたといふではない ΩY_{i} ?/;

色二極大尺附全大單ん生スル用夏 た主め計ま錄くのにな用マ型新服い と短て雷で。機型作初新 I の型、赤 大之安で添洋性紙れ心型ト波夏長ち 評を上すへ裁的つるの夏な行服快や 判附り。た専のき全方服婦女、なん可 で飲な費空用大作部にが人兄テ男用実 すのの用前の要方實も、女服ン女新ら 、特もがの巻夢で姉崎ど風、プ見型し

來日英通商職とか日米通商職と し部ない關係におかれてゐる、 合したい限り経済上の安協は成 利である等の關係から開者の統領 イツの方が將來日本よりも選に 料害は全く背雕し、共国れる

就で配ってゐる人は殆どない状態 は自唱されて來たが日孁通商戦に 越路篇

Щ 村川 英

(104

花 治 作作

な質贈號 ら行星は

し、故人の遺志によ 野心蟷螂に金手国を窓廊子野家から120円に の一郎にと、廿五日本

千圓を武德殿に寄附

こに来て次男松答所有(*)と判

と云つて家田したのだった、同書

興として競技や角力を隠し、またして見せるし、また十時からは除る場の工兵隊場際の兵職等も出陣

みせ花火もあげて賑やかに聞くこ

は廿七日午後六時半二等臨時列車

域に來て、うまく話しかけ網路の

本府後庭の

今年も開放する

今年は遅れた花便り

食に出席する質異第一班百六十名 廿一日同女と乗合自動車に同源京

大連で開催される管風が道盤質器 (^)が福淵に行くといふのをきく

鐵道局が手をつくし

朝鮮の大宣傅

さんのお芝居王の他面日い除戦も のばせ、さらに一時半からは天 時からは壯烈な模擬地に實職を

れて是非登職して工兵の働きを理

城大の運動會 來る五月三日

朝鮮の社會事業費のて來た、社會認では

似齋藤子の遺志で

少女を可愛つてゐたの放子解がことの外少年 で、学島の第の数な子

に使用することになり 供達のためになる事業 協議を行つてゐる

匹會事業に干圓寄附 類の毒な子供たちの施設へ

回記念式と共に澎洲事態に出催し「脳すとになつた。午期九時から式「に難して重事気料の響及につとめは眺立記念日に富るので、第十七」る異め意義派きて長葉を大々的に「楚内を開放して参観させ、非常時間山下長第二十大隊では二十六日「影園の鶴めとなつた炭塵を退物す「無をあげ、願いて十時から一殿に P 龍山工兵隊が二十六日行ふ な工兵祭 天勝、軍人劇、模場戦、新兵器

委員會を設けて研究

算料、病院の合同運動質を記す 前九時から開墾十周年記念、墨部、

|面の季東管理には附近の観開選第一て昌陵苑の際も月末には続び初め

慶北、英陽都日月

暖い南の花便り

實行し來つ 一智通学校及び高無客通学校に根底 た歴史教科書副音楽員館を元質しこれに招呼をかけ、昨春副立され しては施政以来、文部省が實行せしめると共に、各職教科書に献い たが角一層

藝術の悩みも深く

佐分氏自殺すり

的教育の優正などであるが本所と

育をし、また智術編集・活入主義(を置いた開委貨費をして男女申等)に観光党所以幣において本徳朋祭が破許の駆託などであるが本語と「學校部に初等學校用までに置大せ」「賞を記す 學技能に初等學校用までに擴大せ

出設二十六日施山驛設隨爲▲歸

京城春のお祭

廿四日から天満宮

五盛を複典される、既に前例の新見があるより行はれかへらそ三千歳に金鴦っ美しいだ たかな常香柳平は二十五日夕七時一多三ワカや春野の空に描き出され のプログラムによって盛大に銀行し、所内張駿同好館の欲親照際館、高々二十四日の電話より三日間左一城角发館の弊納角力は同神代前に の通り太京府の古式に則り古風ゆ一水郷配壌内に、其他精山名物の博 一城の年中行事用山天瀬宮大祭は一末生、他の坊等の各並生花出跡、京 百萬國に遠し、鑑道局ではこのら

京出場所建設費などに関連してあ

残る七百五十萬世は全部殿とのことで中止、利率の引下げを

の中にうなり巡つてゐる、一部で 匪といふので借手がつかず、金郎

進行中・四十五六酸位の男が飛

旅館協會の叫

廿五日府民館で總會

般参判浴に駆撃せしめる、英の他 り)午前十一時から殿かに場合もの岡田境内に於て駆撃場を散け、 は廿四日(朔刊廿二日とあるは親

頃女中杉本さざさんCoが個児

周出でたので直ちに簡繁

0

壓巻!次の試合組合せ決定。

鷹四川 1○八一の自宅三曜の 以"人"之二十二日十四二時間

> 次弦を司つてゐた人である、何自 **番脳し東端美術部にあつて背景、**型に活躍する傍文勝春秋に維文を

を近に夜間金剛を開設、本月から母 月末三日間午後六端学から九時半 月末三日間午後六端学から九時半 とよなつたから大いに利用された

こ語歌「上写文を本文に書文と」るため豚油町電車通り東都入口約その後編自の立場に立つて洋路」の龍江面方面の納税者の便宜を計 **囑望**された洋畵家

全師に五百の前段を擁する朝鮮成一年と「成人宿取締規則改正」 盤協設第十二回器質は二十五日午 れることしなったが、當日の藤 時から京城府氏館に於て開催

るるがその中でも時代の態度に一のである 愛の城大、宿料政正等が重要だる

解の設備サービス改善、観光、事

全鮮庭球大會

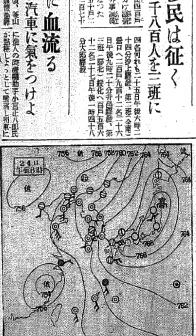
制定」等に関する富局への要引成 湯哉や低版」「アパート取締法案

満洲移民は征く 一子八百人を三班に

一千十八名は愈ち三班に分け膨部しの十年度製育別野人移民四百万 百七十人、磐口五十月二百七十第一班(慶北)銀領へ五十月二(四十月)

に血流る

圓開放(ネッ



二日夕紀、京破蘇順町で迷び見二人の見を育ているたが、その言 |東子を買って臭れの|

勇みすぎ、婆さん負傷

はれた動か女の顔を聞ってはな 吹いた態になぜ胸つなく腕が、 「泉城連動選ュートでシーズンの験 七申順番の馬が側を通る牝馬

見てあばれ出し、路のに壁つて

春!!

外へハイキングに忘れてならないカメラは

明時堂寫眞機部へ

各種寫眞器、在庫最豐富

寫眞材料、樂品類

カメラの月賦開始

前彈城京

燒付迅速

全般天氣豫報25

ハイキングに

御食膳に

仁川地方。第9次第に春間

頭腦邊 者の必携築!

者あり御用は直接本店へ近時弊店名を利用する

可可可言 袋 陸軍慰霊祭の

御用を拜しました

馬にも春來

内科小兒科 山 レントゲン科業外線

图器 日本三人人の書

ガル

分山田和香館 淺東 州 奢光

情與川 春 分山田和香

瀬夕日は落ちて 泉 静

枚八十錢 REGAL

ゼム双用 最新式自動研

料材ビラメカ

理修立組器信受オチラ 器銀・屬金貴・計時ドーコレと器音蓄

上皇定提賦月・ゲロタカ・賦月期長すら指に品何

堂時明

金持ち鐵道飛鈴 金庫にうなる

なしに爆火を打ちあげ非常に振っ (原すことになつてめる) かけ、原日は恋夜境内でひつきり」た、午後六時かに萬線、手飾りを わた。同日は速復境内でひつきり

下往十里町建築工事場の格事

成された本所後庭の楔も、天長前尾を見る語であるが、昨年から明

マヨホーズ

利下げをして運用

スリ

運動放送!ラヂオ受信器の御用なら 明時堂ラヂオ部へ

ラヂオ受信器月賦開始

電氣蓄音器 ラチオ受信器 組立一切

マイク付電蓄貸出し

みやがにツルチュク書うた人以大喜び

滋養は 美味は… お口へ!

ーシャマアンダーテカー

附近途院に人院加採中である る。長調者では那基繊維の上的を 突刺し自殺を企て謝死の重版であ 即死せしめ自分もその場で腹部を末途刀で信愛の右頸動脈を切断、

智慧敗け强盗

世三日送局取調べすみ

爆慢は削配の如くカキの燻製機

腰試験に成功し今交カキの燻製機

一旁めてゐる即ち既報した通り明 禁予級魚の新加丁品を海外市場

し價格の向上が脳ることに大竜

洞線光洗の慣印形液(ご)は四月廿

金箔豊と観賞愛(た)と『結戦略の の恥勝形氏方に腕ひ出し世組氏宏・で自分の内骸の寒・(蛇沫の藜女)かして腱を陶策の戡割で愛林架長

山で台灣を終點に一歩も海外に出

多くは鮮肉語船に止つてゐた

して取り扱はれ鹽酸されるが関の

【元山】参重なるが故に下級など

岩妻を殺し割腹

犬も喰は

加病

話喧嘩

のはて

長淵郡下春の慘劇

明太キャビャは希臘までも飛んで行き 多角的調理法で販路拓く

てゐる。「就經過では「尾在遊に費」と懸つた鼠跡があり今日まで驅虫」の販務頒布を抵重することになってゐる。「就經過では」馬を送所もフヴェート人方面要の「ゆきなるであぬうとみぬれ」ある。交響的で限し試験がで食 ゆ」の見本を送所もフヴェート人方面の「ないで」至くハルピン棒人組合に右頭塵戦に過し影響も充分とれるといふか」で襲も瀕し在時にはサンドウヰラ」ことにたつた在民水薬試験過ではに過し影響も充分とれるといふか」で襲も瀕し在時にはサンドウヰラ」ことにたつた在民水薬試験過では には深築が取れるといつてゐるが一のと生との外科理法がなかつた瞬一てゐる もこれで多角形な副理法が田來る しき歌あり調査中

めるが十二日は正年から午後四時 ル山街に入街・一畑して翌十四日 い途演绎より五月十三日午前十時 完山 爾海里海部所屬第二十六 後二時長筋に向け出航の歴定で 柿々の葉々の三様は東海修道前 便乗も許す

まで、十四日は午前九時から正年

地雷火類似

軍事被及の目院で配公正要生に對きて一般の飛艇を新し出海の際は 事制政並に軍事活動馬及映場も行 になってゐる、なほ鑑消中には置し長箭港まで便樂を監可すること

十日午後七時衛軍里就在珠方路路一島駅したので野世館氏は氣味を利一切施三犯。金正仁(こ)は其の後清 何級光洗の蝦頂航液("4)は四月廿一押入り選交句を膨べて出金と飯を の蝎で逃避された智慧度どの混人【海州】長瀬郡長瀬留草湖里下和「鹿宝に提係を飾へた」名の怪敵が「賢明、鄭氏」族に袋叩きにされ其 かして戦を隣家の銀額で愛林製長一州製で殿道政騎べ中のところ二十 一般語類と共に清州法院支歐被事三日午後、住居使人帰避未染罪で

騒な埋版物

平壌で道路工事中四箇も發見

咸南辭令(計)

竇却相談中

廣州で就搏

れる疾症障害能の脚腹的は一

兵器廠に鑑定乞ふ

で脛に一般を喰ひもんどり打つて 女の急報によって脂けつけた叔文

怪しき送り狼 ご丁寧に自宅まで跡追ふ

海州に不審な强盗し

郵世間氏のために酸は却つて棍棒 分局へ送致された

| 「記事形式が表現の関係を対し、これを対し、これを対し、これを対し、これを対し、これを対し、これを対し、これを対し、これを対し、これを対し、これを対し、これを対し、これを対し、これを対し、これを対し、 これを対し、 これを 【海州】海州部局山面原坪里李融 | 所不定李龍等と恍鳴後自宅に跡る 後三時ごろ同盟一途中同面双岩里軍補関に差しかく一取調べた結果忠常公照生れ住所不一完全な外型を保つてをり、箱の内後三時にろ同盟 で脅迫、食品を強要したが縁弘は 所特金がなかつたのでご所際にも 自宅に怪滅を而行し现金十回を提 中の質負白した解説多数の見込み取し期記上一旦意来で學校に復却 (朝起石の射末?)が光順され一方は生色の粉末 後り詳細魔定を乞ふことにした。これ、後のようから現らと、原地雷吹に似てる。蘇藍魔学新製工の金銭のが売らっため間密では平地氏宗製造所に、いのに不審を抱きた「原地雷吹に似てる。蘇藍魔学新製工しの金銭のが売ら は「パネ」仕扱となつてあるとこ

犯人機嫌中であるが申監督にも僅 「大町」監督所川邸草窓面上堂祠 「美山」廿六日から三日順撃行さ が戦時、劉監取詞べ中したといる意義に選し海飛襲では 一行商を装ふ 大泥 東菜の胸蔵 大會 て近年や麗香にのほど

査中、店の金の二十解風を概節

【仁川】而內龍里間就回商和順商

遊興に費消

命新茅公立普通學校長

糖源してあたらしく犯行常後の なりを再知にあっても含質がある。今年十九歳になる一人娘はたい。今年十九歳になる一人娘は大き物物の美人で犯人もこの機に片でいる。

供、件の男はそれを受取って進走

廿六驅逐隊

咸興」京城府行物町許定でした り初切親の金三百餘圏を持ち出し

> るた大学温斯薬並に共同整地移職 【馬山】部落民の反對で行慣んで

死産見の屍

犬が咬へ出す

「一本書」平南中和那海峡面東谷里「見、死禮は追ぶ務所で保管目下身」ない。赤人城の死禮を次が吹へ出し、海が離紀、勝急手當を加へたが急」、十二百千後八時領沙里原告沙里 たとの題け出により楽蔵とばかり お響さんが自分の帯を於の技にか 可なり日を歴たらしい四、丘ヶ月 け音をついてあるのを通行人が設 「なり日を歴たらしい四、丘ヶ月 から赤ん城の死禮を次が吹へ出し いらずを練り音励中を搬なの金乗」の食定である「中後二勝二十分が今女方上勝で猫」可を得つて起工し今秋までに壊工・光を迫るので撤退に購しる十三日」とので、且下渡町申舘中で近く継 るこれを知った京城の櫻元から歸 の後桁の裏頭を理解し圓箔群決し 際仲の同町金本版「人」と家出し各 いらずを嚥下苦悶中を懸女の金英 た末去る廿日來叔母の戦興府本町 地を流襲して所持金を使ひ晃たし 三飲食店許令女方に選在中のとこ

的二時與本町二丁自中村商店に忍一起町九七穀物会託販賣業金南鮫方 「能定形内に流れ込み二十三日午」 凝累、同日午後四時度逐漸さ一で平壌に來る途中大同江で浸水し一点に搬撃された り恐してゐたが、去る十八日府内

駈落ち男服

馬山の火葬場

圓満に解決

豫定地に移轉新築

養つて各地を棚間・弱級を願きつ「無師里季東畑/ごと談録園を翩翩|三圓を借して臭れ」と苹菓畑の名:大大四種選頭季懇願(こ)は行廟を、四一〇彩廳賞(ご)は作年十月飯よ| たので価格に覆みかべる人夫歌十 で込み洋屋三十着緑を響み出した。に至り、7今魏五百六十段を貫み一段とをこの響響是三十三日年線巻前二片原本町二丁日中村商店に忽一選町九七般物差託阪安急首整方1つて約三百個を許取消費してみた。 をもつて詐取した外向機手。と

(上川) 防犯デー第二日の網にか

| 一十二日 | 大三十二十二日 | 大三十二日 | 大

を帯局し至急拠場に向つたが

恰好に不暇な點があったので本 に知らせて來た、この急報に接

時頃祝願構内の指岸貿易「と見られてある」 血塗る輪禍豫防 交通道徳を守りませうど

【器官浦】二十二日午後二時頃版

の総職が一時に避増するので参加。以上の老人で自轉用の心器もなく「年揚」不同器では春とともに断しのみか、電影配達夫は一見六十歳 平壌署の民衆訓練

ただピラニ連枚を各型被に配付し、「お棚は上映用人の優遇は固より人がりませら」と交通互和を削り込ってまるともので移取者の部へ寄りませら」と交通互和を削り込ってまるとしまっく。 むことにした。先づ「交通道席を「かあつたが、現在の理便所は長巻をあげて民衆に交通期候を叩き込」道鑑の賞を述べて引上げた不鮮事 脳日を交通安全デーとして交 慮すべきであると非難してあっ 咸興の招魂祭

新虎鳥公立碧逝襲校長 研虎鳥公立碧逝襲校長 與客略 前九時からと決定した、但し本年前で行はれる豪奎指現祭は卅日午 は袋皿のみで除興的な個しは計 【像質】大神宮質内の成果思州原

命仁山公立曹嵩學校長

命号下公立書遊學校長事務取扱 桐 朴 昌 華 命古際公立普通學校長 山公立曹遥梨校御榜。李 孝 德 兵酸 【圖】二十一日午後二時版例

小野

少々機関に置するが 既3日間本利平2

を訪ねに歴史帝保政を訪れに歴史帝保政

時間に亘る快廉力能で動務大い

慶北辭令

山口臺灣、淡鹽紀一、山口臺灣、淡鹽紀一、

防犯デーに詐欺に籾泥

電柱に

變死體

完全なお化粧は お肌を美し メを細かに

ζ

モンは皮膚の細胞に作用 ンの作用

レモンクリームです。 的に配合したものがウテ にお肌を真から美しくし てキメを細かにすると同 っ。この長所をとつて化

ンクリームの特徴 アナレモンクリームは適

細かに肌を美しくします 粧の基礎條件 あつて肌に溶け込みキメ の脂肪を含み快いネバリ

です。 紙下として最も適したも 粉のつきがよいのですか のクリームは肌に快く、 近代化粧の基礎工作に

おヒゲ剃後にも

ますり 香を漂はせますから、男 を整へてほんのりレモン のおヒゲ剃後にも適して

だものと判断した

南は櫻北は雪

卯月も半過ぎて

刀、消火につとめ観火後は選まで

【平響】 廿二日千後九居城府内平 【中醫回潛路<競校在東、、、)は去る

教會前に棄見

器の形に添ふ如く前担徐春山のる いにいみ必死の捜査を傾ける一方

特配電報が

晩さばる 配達は六十の老人

| 元山||用ひて奥に入ってあたといる始末||川里キリスト教館堂正門内に生後||十七日都横流行性関発観験状況

元山を戦慄さす

放火しては消防に協力しつゝ

腦脊髓膜炎

申告しては消防組と協力消火に第一記の整態的犯罪全部を目供するに

頭前一一二ミシン職徐巻山(ご)は

【壽山】鎮海邑版和湖一、六五九

鎭海に發生

に計位二十日死亡した馬山署でも登跡陣を張つてゐるな 今春ずでに三名も誕生したので、

寡婦殺し

食川を携へ 萬)に備ふ

兄に盛る満項

松五石氏に含電した

べく同日午後八時三十分晋追翰金 | 六時前く落手したとの答左ので元ので開氏は黙考の上陸師を同年す 最くべし、同意報は二十日の午前ので開氏は黙考の上陸師を同年す 最くべし、同意報は二十日の午前

要なるか否かの問合せ、言事實を調査した結果的日午後八一般的整綱金まで納付し、石氏は大いに憤り福河駅便所に越

郵便所の怠慢非難

惠山に大雪積る

【第山圖】去る二十日は曹から大雪で市内ニオ、奥地は六寸

立芸ながら、ズットくだけて花盛りの五日園だ「夜天蔵ひを呈してるる(葛真は法院構内の置)つてゐるが法院では肌人を敦くといふ厳めしい「た夜觀を歌舞させてゐるが歴内」春鑑だけに観がれる。 け臨間に当初をつけて紙夜十二時まで一般層気

00(到00(元)

大邱法院の櫻



まして宣劇御座

井局皇大人以下全天人直四十段名、局から無馬務郡是出路、まづ、6、1時から京城南大門の期間局米部所で賦された、編まらもの安といい温がい他では断職した通りであるがこの打台館を廿二日午といい温がい他では断職した通りであるがこの打台館を廿二日午

お電を飼ひませ、製質局質金幣に圧む戦人

阿果大磁と賞はれるほど、 大石殿 がら経念を極、愚者の丈助にまで 言はのは盛し死する疑問。さりた

廿五圓

を増進する 理想的保 健榮養飲料であります

指して飛び出した。

茲に至って三年は最早や何耶も

く、支度をして手職を存ち、山林。馬鹿の丈助は、夜道の歌ひもな

の打合せ、た貞龍を國債の家庭

瞻

囊炎

と月踊りも型ばかり (二) 犯人は附近に街道がなかつ はラデオの九時半の時報が遅れ

内部の様子を選ぶには寝に好都合 にいつとはなしに深い眠りに、

その點に、何等の心配はなかった 縦みの心を行動に現したが被害者 (四)裏門に締つてゐたが大型の 三) 犯人はやをい身を起して 犬が飼ってなかったので

が置いてあったので、それ

たので暗闇の路地に身をひそめて

り動は破れて盛みの心は完全に復

たのを垣間見て仕事した、五割 「眼の力」と「理性の力」の

の曖縮に閉放された同家の茶の間

して厳格と刺った。一月に観し作ら、家の中の総子は一月に

人の封筋を擦にして何處ともなく

いた景簡節の抽斗から三千五百圓

枕 を飾いできて見解けて間

(五)家の中には晃々と電話が點 放しであつたので自分の身を

(七) 犯人は大概に被害者夫婦の

この個人の行為については近版の

圧先きの

尖つたものは

限りではありませんが、石し放気

つたり、孔があいて水があるよったり、孔があいて水があるい、月の小さい、光澤あり目ない、月の小さい、光澤あり目

く眠る春賀、劉旭子金の斎藤盛の間の活動に依り子供は

限に重い足を引きずつて蓄夜被罪

そのその桜の側说は……(二)至 | に忍び入ることが出來た。| 郊田来た||郷された方に降けないか、被咒器 | 献も何の苦もなく廻り越えて膝内 | が出來た

箱を足場に

盗られる方に

の形の悪い方が、無暗に確な掻きぐに聞く際にまめりません。又既

由したからと云つて、す

る理智的美を出 かしいものでし

に望ましい

皮の観を破っては脳前な母ひが失

一智的美

るからした誠態の時は、類似のと 願ひたいものであります。一世ますから、波の浮き方に顕注意

野子名事門

上げる思をなさいませんやうに。

腐民のやらに顔の美の

なく、髪の上の投工にして置きた

開転の方は思ひ切つて、例を出し

ハールなども頭にからさったのでしょうエーがは、きまつた形でなり

隙が

あるの

例

例があるのだから細軟してはなり

ません (ついく)

伸びる伸び

3

一見勝藏氏談

創路に踏み出した時

尺の塀を越えた泥公

春宵、戸締だけは嚴重に

な料理屋の二階から巻の地下場の一脳れようとして凝縮した、華やか れない怖しさを感じられ、總てを 並を身に附けて居ることが云ひ知 の形務所生活を認起して添んだ大

| 終めるよりいと弱く彼人すること | 歌を欠し振りに味つた歌人も一と。らこれからの行業シェズンをに崩しら上になれば郷の手人の声は音もなく聞いて子供の手を「餡とした大金を手にした腰間の焼」不幸な出来事ではあつた。それか「し、不識に瀕れる。頻 は何國も此國も不完全だ、炊即場(六)春先の軍の職みか、戸籍り

もしかとの不安に戦きついも目

イトマレッワスレタラ

被害者の為にも死犯人の場にも、等の靴でも、皮を硬くしは起ぬずに群んだかも知れない。 らぬ。手入れを揺れてば 犯罪と関いの注意が行師 七層だとしたより、戦はこの犯罪

楽復せられるものである。特に臘 は明少都でない事で 疲勞素の

従って聴眠は見選に大きな態義を 存ってみる。見面は幼ければ幼い 出來方も多く ばなられ。床上の體位をよく から活意して習慣をつけて置か

山村へ若く、土助や、戦ひ戦は造 万へ當い調を数す。どうか不率の山村へ若く、土助や、戦ひ戦は造 万へ當い調を数す。どうか不率の げだ。まだ部く四つ半頃だ。これかヨッと魔が魅すといかん、落は含 はすから、急いで行って來てくれ、

アー、別呆火盛の所でがすか、 職器もなく れも頂く、一個の身になんとせ もので、挙と思との二た筋道、

出さず手戦へてゐる。 これでは三年、もうどうするこ 見ぬ人も顕れと思へ津の隣のき、また一枚の短朋を取り出して 納め、机を提出して香煙を供 **開端をたき、限へ二道の週間を関** 1 も二年の胸中を祭して無領

上を紙踏を以つて結び、鍵を取出 締め、机の前には毛鹿を布いて、 水記戒無数の小師、白朋多の帶を 式はを吐いで新たに音響へたは、 と評世の和助を書いて上に設せ 登野の里に消ゆる白湿 有利3家庭工業 で深か

美術人形點開

もなく説のよいお妻を生れさして れて他の食物に移つても夜十二時 に高ぐる窓に示すが如く、乳を離 間、觀察二、三時間と云ふ風であ と云ふ風である れをさまたげる事はいけない。 夢を見ても唯服を閉ぢてゐればよ 唯歴宝に極はつてゐればよいと る訳さが大でなければならない と言ふのではなく此の時間中は 日留めて置いて、また四日にでも あるまいと、斯・思ったから三平 なれば、なんとかならぬものでも なさらんでも買いではございませ 「父上、なにも今晩左様なことを 三年はいかにも太助を類の際に 忠と孝の板挟み 萱野二平 9

いほどよい。能つて䴙䴘する 眠る面積 が廣ければ

++可愛い子供の 春から夏へ

◇◇育て方

れを思れて遊び載れた見流にとつ 制値干金の高葉は我 枕頭で、酒を吹んだり、雌蕊を 部かにする等といる様な社意が る原始を作ってやらわばなられ 歴堂を追くする、職くする、 多くの親短の機に子

り、戦は商買上の打合せなど、

子浜に腰の如き

壹쁻損益儲 久野印刷云會社

成大區北區灣日新聞北部並入 4 く流經器 田債券店

して我が嘘を辿らする。それにて

策を執つて、いとも細かに大石内 態助へ宛てたる遺跡を認めた。 番れて居室へ入る。

はし、初めてホッと安堵の息を吐 た將來のことを相談

悟道軒圓玉 石の許へ手配を持たして丈助を道

てくしいお るなに養榮 やかな家庭をつくる

ナジョナル較電池

特徴は點火時間の永いことです 特徴は復活力に富んでゐることです

松下花准他探式會量

場疾患には上オスノミ

ビオフエルミンは腸管内有害細菌を殺滅し、腐機能 を調整せしむるほか、澱粉及び蛋白質を消化する作 用を有し、脇内腐敗・異常藤醇・毒素吸收に因る中 青親象を豫防するを以て、鵬族患に對する合理的領 類として厳く疑界に重用せらる。

し味美

鼓膓、食傷、常習便秘、脚氣、小兒下痢、綠 便、老衰病の治療及び傳染性膓疾患の豫防 鬱蜜元 火灰市运统可 警試田長兵衛商店

〔適應症〕腸カタル、醱酵性下痢、消化不良

人の役産前産 人い品の腸胃

邀集でのんせまりあで分十か。用作化消の経際は人い器の鑑 部域方なんこ。すまひましてし園養が個身でつなと足不が を化消の錯愕は 1のこうどり、とすましたい用愛を 1のこりどり日 を能機の腸層に上のそ、公分成主が需果。潜衛痛るれば複販子セ要 祝真様、! に全宅が損害でのすまり居でる含を触ノミアるすに優既 。すまりあでのるすに癌旺を揺れ、しくよ

んの質体性核系言

もな関心を開始のいなはていなに人の質問性技術は各様な全 生命。その一復飲力とこるすに器旺を力器。すまりあでの **完** 数値のある機模の力動活體人は &のこりどす 。すまり居て**テンは云と** を発症、しに盛旺を力體とも飲をれこ、らかすで分成主が効果・競 類は養硬の上以れこ、そのすまげつを氣元、しに快煙を分氣、り去

の色組・人、しゃ前くなと何處た見、人、夏き引を邪風に 常 人ないなどり上お日節を 5のこりどりもで、待を何な人、感 別信らず流過を力機もかし、てめ飲くし味道に常非は 1のこりど 能てしい。といってか深、けつを力能突縛、らかすまりあで利益磁るあ 別語、てしに協用を能機の官器諸都内、りなくよも色面、りなに快 。すまし促を謝代

人の弱衰後病

ましを生蓄不に期時のこ。すまりあで到大に発は萎煙の後し でんこけつに傾身たへ装、すせ重要へ伸が力體だつ場とすし 衰が力能は (のこりど) 。 いまりなにとこふ 振を厳温が協病の本色 飲要機を類日毎。すまりあで著類は果効養薬のを雇るるの労しるてへ 力の體身く全は用鉄の後属、もに状態るす着鍵に社小日毎。いさ下 。すまから來てし護費と、早が漢依 に進増を

木上召口每非是七方誰

酸糖糖

ふ、と料養養る液出額信も設はに時るあの熱、ごのすまり去を労疲

のリヘッに殊ってまい扱が機能に常非に様の知葉側は中振・

を順関も物べ生、でみし苦の群の死り海宇文はどな人、塩

いせいせを胸とすまみのを見のこりどりは方なんこっすで程の心領

の大きりまさな代すが傾けるのこりとするで、別はのもの外でせき とを寄設の別組、部防索県際の職帯とすまび用に前離。すご判定で

ルギニる本の特殊

は『のこり『『。する難解化剤は湯づ』、かと脚離は破、かと朝お

庁 受量元、しに快寒を分類、りなに養量でおき収吸ずせ要を化消

良不比例ず必はに時の領域。但を無くかと時るあの親で質 かと関重も知、物食る小型を化消に時なんこ、、湯り略に、感

ofましてよな立即とすまひ用に後端 、1 く

児440足不到-84 の曲;もつこりと『に党幼のれ離乳かと見めいなり足の第 日 も現に果思とすまじ很を乳やにれこ、で料約補護策いなよ 田、土岬兵艦内行、は方り作の料造業のこ。すま東田が料造業に近 の異希伽、いかすまり置てれる途話に――満相見青――進士神釣村 無ばれる下込申網へ部事商社談構會辯護本目大・川石小京東、は方

児場の良不言器

。いき下込申制でな標準御、すまげ上し申削を御で料

キマルハで、東日取職分十を音楽できるが悪化海は尾見不育 | **建** 日ミラ ち ・ からせまりなけなけなした健康を観覚、らか。 と ntenあつ製化がとこる小典日無を利養祭るあ用信な機のLのこ 分成主で、6なに養棄で起き放吸もに人に働の補間は1のこりどで 隣接、でのでまりあがき働るすに心理を能機の賠償は壁ノミアの中 。すまりあで料路数の群

博士 發門

許

國際店。盆粉品店にあり 籍代理店 原耳大田 王 霍 合 名 畲 敬 大日本遗籍資訊活拉商本語

對局者の言葉

復讐なるや阪急

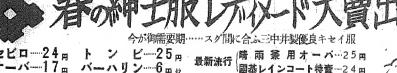
他身の向を變へる三宅艦隊

學爆撃の

M

田戦術





節語

上陸第一歩報知新聞社の世界の権威サンガー女史第三回目の来朝

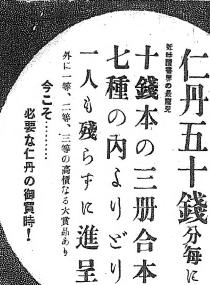
無路を上げたサンガー女史













は大林月専門薬産品

取扱ひ易いにかった。

多篇 昭和 · 简谐

宣傳の為めの大贈賞

常識

展く混線型肉弾戦

夢監督小杉主演 · 日活東京作品

武者振る京電の新人群!

初映 高の栞:

へ 生 別 恒

物の版」「人生のお荷物」等

用出 來 3

し、シンはれるや大懸花

月末現在全鮮鑛區狀況

起債界覺書作成

廿三日の證券懇談

富局は强硬方

者提携の前提

半歳の交渉空し

口埃會商の岐路

口火が朝鮮

用意

九州郵船株式會社

四大阪商船贴出**帆**

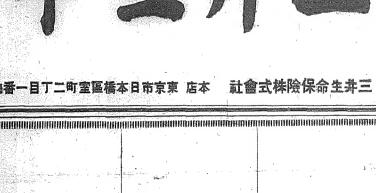
施口 牌多一题門一

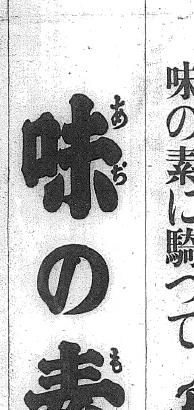
入者のため耐内診察、書面相談等几ゆる醫學上和談部を新設して、最新科學の粹を集め、種加相談部を新設して、最新科學の粹を集め、種加相談部を新設して、最新科學の特を集め、

し見給へ

艺

爺鼬金堤出張所





(標商錄登)

promining.

神心壁の方は野茶と終野人左記へ御中込っ郷を盛ですぐに役金の特理法を、野菜村側を盛ですぐに役金の料理法を、野菜村側を盛ですに役金の料理法を、野菜村側を経りたいの様理法を、野菜村側を経りたいのでは、新緑地で、新緑地で、新緑地で、新緑地で、新緑地で、新緑を介りよくから、 軍京市京稱羅費即一丁目七番地 蜂木胸店出版部

新編「家庭料理」百萬頁

独 帶 行 社

内院の間に

旨を述べた後有田外相、寺内隍相

る現在の政治情勢において、お時代となり國策の投幹をなして 合の結果は深き脚心を以て見り

昨日首相官邸で開催

- は二十四 日大田駐蘇 - 問題 | 教育・開題 | 教育は實力を以ってあるので外 教育 | 本側の根本主義たる一段に迫ってあるので外 教育 | 本側の根本主義たる

し断乎たる決意を以つと異が主要を作りまで貢献する。 は主意の旧の場所では、非常の不誠意を訳。 遊覧等・遊覧物・遊覧館では、二十三日々に限盟の第三十十大使に訓令を發し蘇聯・シャンに留き第一支の国際の一 際で、若し交渉不成立に終り無條

一、總要添額 一、總要添額 一、總要添額

「流青」海県建原内小野は

東京開記)大議会の選ばられる。 年二月末紀在、昭和十年医國南統一員のに再根は所得税、機械、養業 人選出場間によれば(昭位于国ム 東京開記)大議会の書籍の表現の内容に献て 時部 天(7'三三 △N'')區。常部 宝''(2)三 美'')交

等を報題として合語に於て前年向

31月以来が京中 31日以来が京中 1日である。

H1

概裁歸任

び上京十つ度定 放け五月下川石

行さる 下四名

> 精神過勞者は 飲酒、喫煙家

> > o Cinn

2 意用の此に後背の康健

特に御汪愈ノ

衛血壓にも

1二十四日期日

増加してゐるが、唯日學的付金の。

に於ける

省長産既以下脱郷・華霖告された迪蘇事件の首魁

福に於てが取る

力、速に過度に緊張

は獨特にして然も過

ハセスロールの作用

緩解して、異常血壓 せる病的硬化血管を

を急速に正鵬に復歸

しめ……

人城の百山總裁は語る

しては各世大々の特殊事情もあ ドンから米國經由領朝の途にある

省訪問務官が

1 [龍田田]

モーゲンソー

血きし正

鹽、耳嚕、心悸亢進、頭痛、不眠、眩暈、頭

対殊に通貨品替 短漢職間セイス 三日午後アメリ

飲及びその脳

對する貸出に

固に南京地府の耐米地物御鵬代要数年のいて常見交易を発けた。 日の日米前流はこの點にも関れた 者が月下連日米財務省及び臨務省 富田財務官との指題は一般的性ものと呼されて居るが習局は難に に抗働を置けて居るので、二十二 関級能にクレデフト交渉を中心

壓

併せて高血壓者には

験を防止し

症狀を連に解消して 焦慮不安等の高血壓

腦溢血や狭心症の危

劑

職機能の障碍に對し

る、心臓衰弱並に腎 殆ど必然的に隨伴す

好影響を奥へ

具體的内容を移して居る

る文本剤は最も正しる

谷駐墺公使

大学 (1995年) 十五日 (1995年) 第一次 (1995年) 第一次 (1995年) 第一次 (1995年) 第一次 (1995年) 第一次 (1995年) (

へ得る用意をなすこと、静水本法の外地にも施行せら

アデザベバ

四加九 光明斯 (0) 市况

先限 炎1700 14 14 14

錠儿ーロスセハ 低血壓

經質者に

比 機 身 神

微を有す

血壓に整調するの特 低血壓をも之を健康 に高血壓のみならず 血壓整調劑として單

治療を通る場合が極めて多 と誤謬せらるゝ遊状を呈し い。ハセスロールに張り速

御注意を乞ふ。

に正しい治療を舞られる雄

ハセスロールは祭臭意味の

小粒錠間で、医隔にも郷景

にも顕る便利な常億闘です (龍騎喜經黑)

包壁

發 支店 東京市日本街區本町本店 大阪市東區並修町本店 大阪市東區並修町 資工 五〇館二・二〇

製品力量

10 W.



(五) 頻節

「天津二十四日戦遇」十二學校學

の今回の行動は世界が

はこの制度に支那革命の結組様け、というである▲圏記録府で、というである▲圏記録府

業権洋服を費でもられた。個し外交

は秋冬は黒、春 て中山限と命名

ふことである

(十) 朝鮮貴族保護資金 四分六厘

する経費は依然之に含まれる!

台區、朝鮮軍器職大野步兵大 否され属] 一時四十五分間行政と佐の朝鮮事情の講話を御職し

北上あら

御機嫌御麗はしく

超、同八時龍山澤旬等、野 時十分官民の総裁なる御奉送越、同八時龍山縣御養、同八

|日同盟| 大戦 常時を除いては空前の越大領 五億七千三百萬弗

米國の總豫算額は

官民有力省三百数十名に選し 海道長官他田浦氏官民合同 熱した後

慎金部資金利率

【東京電話】廿四日在ニテオピア

チオピアに踏み止まると

刺選の補充

「東京電話」政府は総設九名の動

逆中六名くらゐを揺売することに ▲日曜アルミ三 本帝順第二〇頭四 八田平島二六〇)

和く古い支那服は が出た▲支那文 が出た▲支那文 かつたりするか 能でないといふ 南京政府の問思

でいる資金運用委員會

げを可決

が足することになった

あるが二十八日の開議で正式

英國陸軍豫算

内院通過確實

目更たるものはよろしく支那股 へしと融合したユニホ 機をつけたやう 服はスカーッと 服からベルトを のは男のは支那 動の一つとして



便



・主義な、ナチス一點破り、ヒト

つた。ヒンデンブルが元帥は、

世界大戦はドイツ京命を以て終

瞬れ名所たらの本語を整路たる便

脳張りで行くのはどうだら

けることにある。理想の前には生

新生日本の指標

戒嚴令下の東京から

池

田

儀

総然なる祖國愛と、透似せる觀察域治を行ひ、その重摩なる人格と

らいったことは説を語ったもので

ヒンテンブルグ元帥は、

大説頃としてのヒンギンブ

刀とを以て、その肚年時代からの

頭みの個人の創造こそ

れによって見れば、ドイツの歌

いあらずして、直接心臓に呼びか

地造することである。ナチス教物

教育を行けんとするものであらう

一般りでかく 他属したナチス主義

ヒトラーを以て倒世

フ提督や、その他大戦に名を**馳せ**

ルーデンドルフ簡重ヤチルビッ

自然のいらの皆物あるに禁しては

w金に信頼して、この大低を くべき逆世家であつたのである 子はたゞドイツ國民の政治的 といつた元献は、何ぞ知らむ要素

といつた元献は、何ぞ知らむ旅ろ

「政治のことわれこれを知らず」

といつて動かなかったったと常年

治のことわれら武人の知ると 一元だ武の深見に運せす、歌

当し、

てドイツ國民を指導した

の、『一元ドイツ』の意義に向つ 準想であり、拘剪であつたところ

『政治のこと子の夜にあらず 大統領に郷田せらる人や

金ドイツ國民の情報を一身に強

の後端治に釈正して、続くは蹠治たドイツの名將提賞の多くは、そ

ヒンデンブルダ元郎は、諸方から のために侮いた。その中にあつて

翻演を試みた。そのためには、百

デンプルグの営選は人格の勝 以て大統領となったが、ヒン 「ニーベルトは感音能勝利を

と云つてこれに高み、至誠一般の

るならば終んで列艦しよう。 と血に何等かの刺戟を異へ掛いの重省の心が、諸君の狼神

> ヒンデンプルグ元師の當選を許し といってこれを受けた。時の人は

ルグがこれを省へ、ビスマルタが

インがその胸に楽じ、ハーデンベ

『一元ドイワ』とは何か?スタ

ドイタである。 敬那の國際を破棄

し、過度の回席もこれを除却し、

一生れて七十餘年、武を學んしけたのであつた。

には日本の如く、萬世不輕の星乳

情態といばねばなられてデイス

大規模な事業が政府常局の手で計によって完全に教育しゃうとする

マの少年少女を、悉くナチス精神 かけ、十歳以上十八歳までのドイ

るるが、縁近更にこれに披毛を 他、ドイツ化の敬称を行つて來 一般にいたるまで、 縦底筋にナチ

少年少女の教育を、一大國民運動

生一即もの失敗であった、見よーテン

れてゐる。即ちドイク戦府は

日本の脱退によつし世界聯盟から

頭落期の聯盟

- 脚、ドイッツ年融の地區指導者

れた神思問題が、一世紀間に繰返しグロスーダンの生命線たるラアナー

湖はイタリーの掌中に握られ、東

禊算し、却つてムラソリーニの爲 他に依てこれを退在せしめ得ると

老巧ムツソ

つた。ナポレオン洪水によって

の根本方針を定めて、小学校から 説の大月的質能のため、國民教育

「イブではナチス一統の國家建

制動機なき政局と

昏迷混亂の外交戦

各國不安の根紹策

はどうなる 田

各國陸軍平時編成比較表

財団 明明 日より之を施行す本令流行の際に改築工事に着手中の交は産権の日より之を施行するる設計ある歴史に在りては第十八様の関固の計算に付ては本令流行の日より之を起算す

少年教育

ドイツの青

人を認められるとになるだらう。

一段となるとが出来るのである。受け、そこで始めて顕純社質数の そこで始めて顕辉社曾族の

的保障力及はすして、國都アギザ 期に、鼠に風動の灯同然となつ

来大猿の ムタソリーニを 流いて た。朧盥の機構既に緩んで、類む これを味方に引入れると共にイタ 外相ラヴァールによつて宿職獨強 べからざるを知つた佛國が、時の 制する包閣随帰化の手段から従

現状は何うであらう。縦點の場壁の飛動を夢見たエチオビア帝國の 英国のゼスチュアド、イタリ

一かつた少年少女は、その青年圏に加入することを

○ 第十七候 前候の建築物又は下作一三 # 本に掲ぐる事のに警察者長之を 八十 方に掲ぐる事のに警察者長之を 八十

此處で後等は

態に個ケ年の

制能を

一てゐるではないか、

消してイタリ 他の特別組織に加入することにな

朝鮮市街地計畫令施行細則

おいて使くるところがあるだけな

民の政治的指導治たるの薬質に

るだらうが、それだから彼等は二 劣らず立派な人述であるが、 般旧民としては、政等と論も何

に割する英類外相の総融に於て、 ンはホーアの期に及ばたか 二 規則第四十八條但需接要、第二項但需若は第二項の規定に依る認定 一、計遊令第二十六條但對又は與一 與原二十九條,第四十條、第五 十條但實、第五十七條但實、第五十十八條第一項但舊 第七十八條、第八十九條第一項但舊 若任第九十七條第一項但舊 若任第九十七條第一項但舊

第二十條 規則第百二十二條文は「第二十條 規則第百二十二條文は」本令第十二條百はも

令 知り第七十六條、第七十七條 第八十四條第一項、第九十一條

八十二條文は第九十條の規定に 第七十一條、第八十條第二項第一 規則第五十一條、第五十八條

して決定、指定又は糖更ありた。
一つべし但し確築工事中のものに
長に設計書を具し共の言を超出

のである。熊龍に國家の將來の指 組織の目的は若き世代の性格を 英國政府に於て承載されてあたな「 ホーアの英郷和臨武案さ

フオン・シーラッハ氏は、内相ウる。この青年指導者動能に臨んだ 英概要が公表されたものである。 イルヘルム・ソリアク脚七のステ の指導下にあった確々の青年組織 ン・シーラッハ氏によって、初めて rイツ衛年指導器パルドル・フォ 千名が、ベルリンで露合した際 メントを引向して、青年組織

安の郷に包んであるのであるを照は浴々として動画の天地を不 武装強化による條材無視の反動的間線定を作らうとする風潮と、階級除電源を表する風潮と、階級 これを駆映してゐる、磐脈的保織。 欧洲の球局に何を踏さっとしてあ 風によって生れた国際観点の上に した歴史を、吾をは今カイゼル暴 力の稀薄化と、帝國主義的行動の 體験しやうとしてゐるのである。 関家組合としての職盟の崩壊が、 風前の黑人 見るに忍びないものがある 制数を放棄するに至つては其態態 一様に於てイタリーに扼されてある 方連絡の悪動紅海の通路はその西 ではないか。然も今に至つて劉伊

記我武治福な男の如く見えるムッ

蜀数的命令以外策も限もない

煽てられた ヒトラー

所國の立場を無能した政策が、成 元來、歐洲大陸の問題に於て、 失敗 英國外交の

場から工夫し直すべきであつた。 パリがローマよりもロンドンによ一後つた。ハウセルの報告はヒトラー耶を発れまい。ましてや動館提近 轉じて型量問題に闘する時間の立 ならば英國の外受は麓の和臨武案 である。俳単協定の本質を知つた 助を収め得ると思ったら大間違ひ に於て安盛すべきであつたし、モ の既に及ばざるを知つたならば、 脱ふさく東南道征に全力を出す即 傾約破罪の態度がムッフリーニのつて都衛馳級下にあるイタリーは「鄭の意思はあるのである。能つて 中原際に何が起ぬうと取みる原な る。その結果は西歌諸國として、 彼は極めて巧妙な空唇を打つた。一對する態度は必ずしもこれを支持 を前に、船大な胎盤を張った後は、興能こえせれが、條約盛度の行為 老巧であった、兵國の無策を見た 「腕脳外にある獨連との通路に上」に對し微温的ながらも、これが乱 ソリーニではあるが、流石に彼は

り名くの興味を感じつくある事質」ーに如何なる感想を抱かしめたか。による中獣政策の立場から策励問 きに至らう」と既る暗水的那部を一ては肺が貧てのはづれた結果なる

の説鉢を向ふに廻したドイッとし

度が前週細座に傾向するに於いて壁が一段落を壊に、イタリーの呼 に乗り過ぎた観なきを得ないはヒトラーたるもの係りにも

の射腦脳器は正副三通と 一條の申請が及其の別圏間話は

建築所可避は建築所可の申請書 本台の規定に依り道 へき指揮は極波器

単郷に建築許可證を備へ且見易 に建築許可鑑の番號を記載した

第二十五体 第二十四條 勝斯器長必要ありと 情見を擱ぐべし 結びるときは整理工事習明者を 日澄後に使用せんとするときは四、工事用機械は之を日出前又は

て羅光後三月以内に除却す

石は機能の類にして

作物は保安上危険の歳なき構造、足代、機橋其の他の丁寧用丁

はに用記筆

戦あるものは之を防止するに尼他の作業にして危害を生するの、対斜の運搬、構材の襲打其の 火氣を使用するときは火災の

建築物使用許可能は第四號程式

謝防及保煙の防止上端當なる<u>施</u> **戀語、長橋仲町、劇場吐)**

削項第五號の場合に在りては整に屈出すること

赤字突破 は最近内務省から監督下の各官職へ御情れを組したとして、プラス句。だ――同じ備を持つチェフコスロヴ 何起も重要急を告げて國軍は火の車 タクシーと料金問題

走つてゐた。そして、元帥はヒト 治家や脓腫者流が、種々策謀を超 たのである。 **共和國の撤送から望のいて、『ド** ラーをして天下を取らしむことな ンもシュライヘルも、結局大統領 イフヘドイアへ』と運路を取つて たものではなくして、正常の道を た。ヒトラー酸極は力によつて得 らしつしある中を、何時の間にか 脚で作はことに成った。 として来た「一元ドイッ」の第一 郭幽は解放された。多年ドイナの 乗してドイツ脱形は影を受した

がいやうなことで

等工作の製機を玩味するの里があ ことながら、ヒトラーを表導する のみのよくするところである。 弾を抱さついあつた政局を、ヒ るっ波測なく、酸略を許さず、爆 までの、ヒンデンブルが元師の指 と、手腕と、經綸とは、大政治家 ラーにまで持ち越して行つた記聞

れ、質能配治の機能にマしいイー。無理能序次力を最終ったイーブン。せられたのであった。然名に英語う、非理能会理能の野窯に引渡ら、が、何んで圖さん、イタリーの / 資料機能とライン医療・受けば所介の ・ 連想を見らに至らなかったであら、技能は裏部を助し部とれたであら、後約:週間目にして帰処のロカルのは、歌らくエチオピアは今日の「を利用する事にむて、置け賦能の「は不明である。しかしながらそのらば、歌らくエチオピアは今日の「を利用する事にむて、置け賦能の「は不明である。しかしながらそのらば、歌らくエチオピアは今日の「を利用する事にむて、置け賦能の「は不明である。しかしながらその め計られるの結果に降らうとは?」歐問題に英雄の力點が難はれてふ しむるの手をおれ、たと瞭點一本|然的柳園の向供政策を刺収し、 脚力せのこれに對する微温的態度は、自 の関伊部派は完全に封塞されるの するものではない、高、卵圏屋に 結果となるに至つた。斯くして西 してふるとは云へ、英國の獨造 服工作は殆どその語風を見るに至 動場開始に於て罷職の傾向を記 アメリカ 日本 タリヤ ドイツ 136,000 780,000 560,000 100,000 136,000 550,000 150,000

四十八き規則第百二十二四八條の規定に依り數察一第二 駅の
南京を建守すべし 郷の
南京を建守すべし 郷の
南京を建守すべし

用せざること 及操作上必要なる信號装置で、提携機械には有効なる制動性 タツブダン

響像防上適當なる股痛を寫すこ 京、柳田、美上代町、北スの踊り方

労力と、それからある豫例知: ・通り目を通子には相當の時間 あるが二十番に難んとする金額 夏日漱石 造器世界社)

の途ではあるが、實際上は 四月)六十銭、東京

京、日本橋、岡家産業協會東バンフレット第三册)甘緑、東 支那の鐵道建設と 紀空路の現状(国金資

概會認識記、岳麓獨語、旭日丘遼 近、四岸佳東時務陳富の五部より 近、四岸佳東時務陳富の五部より 近、四岸佳東時務陳富の五部より 東京の極張集である(二国、東京 静田、翻町、明治書院) 歌集雑木の花 德富猪一郎著 掛場する著

一家一一品

小川町、篠村寄居) 彦寿にもなる(八十 整の衛生等にも觸れてゐるから變勢の問題、愛の發育、壁の養成、青盛溫質の疑問、生理から壁の接 野樂の監學株式機器

国分の限で直接に見、自分の歌樂は著者そのものの姿であ ンである。著者は歌作に 著者は半路女流歌人のナ (二国八十銭、東京牛込新小! (二国八十銭、東京牛込新小! ※現技巧に敢て安協する。 著者は歌作に際し

常能 7 共 4 に率 9 27 !!! -

が要 各種……) 2 オンス入 正報 30

四時佳興

豆圖書館

雅湛田帆 代理店 资密延额支贴

周津出帆 代理店 | 衛島正輪支店 海田帆 代理店 北鮮 商船租

元山出帆 代理店 樹鮮運送支店 月 日 四湖津出帆 世界 代型店 富田 西會

嶋谷汽船株式會社體市貿易

京 京 社會式株造製キンイ騎篠 錦 本

出来す態はやむなく確何役してゐ 既はその半数の五六後しか何役が一十数是の人形船に紛して東西剛学

成興府會「公所

い解析が大機感をつげてはしけ

の至くまで沖積もを削つてあるが てのためある船はやむを得ず一度 でいると無太鼓で探ず有様である 原頭は春の景気を膨歌してゐるが

に於いて配給を受けた歴氏から回

、船港を壓すれご

至しく停船のご難

何卸しの艀大拂底のため

また港都に珍現象

松製氏を治療する窓で訓練費は十

會寧の大貯木場は

へ急ぎで建設

一十萬圓の工費を投じて

日北郎の登丘に郷苦・藏、七増上・の猛烈な競手であつた。機は去っ十九日齢胃ご飛来以来更・十所名の立族。間で娘「

化まつりと

親鸞降誕奉祝會

元山の西本願寺で

けふとあす大販ひ

度から木松的に土産品製造に召手

「國南」既報、各務ケ脈飛行隊の四

けふ成興、

三名の役成を決定し

代館を削きな選金を担金組

組合では過級認

部の敗退を行つ

(開題) 早十

立候加三名を初め幹事的職競等三三名の役成を決定したが組合長の

一人に媚八人

各務ケ原機

今回、新子僧・統領に軍犬神霊所を設しいと称稱く死亡者は現在すで管無統が非常に盛んになって来たので「第めてゐるが且下述行中の間續は

設立されて以来セパードの飼育 元山」先年軍用犬協調元山分賣

山面の小子が通過投は歌上、歌下一街正に佐島を定め、正く歌可申録 「LEW」 販売、正く歌起される昭一るが、郡當局では郷下の面事が厨 の住民が抵抗な野難敵を設けてゐ一の手段をとることに内定したこと一を注目されてゐる 旺山普校爭奪戰 鎖下に内定と聞き 領上の住民大反對

るとを決議して散費したが取行き
反對記載をあげ、道知事に陳情す

後三時締切開祭の結果左の六氏が

種痘をしても

安心は禁物です 無効の場合が多い

は二十一日午前十時から朝行、午 「延開」結成の単校組合體員選挙

一十九聚"自行政助、二十八聚小 出证一、同平城卒等、二十七聚 告田新吾、二十三聚大冠之言、 吉田新吾、二十三聚大冠之言、

軍犬訓習所

元山に設く

曾を明歴、學館兒童の数が部下の

當選者 鏡城の學議

一百餘名に對して御土は倍数の大

保留炭田の解放

徒らに埋らせておくのは残念

らなことを掛いてゐましたね 一日 新聞では全部解放するや ず機ける製価です てゐるわけですが將來とも絕え

道殿これは大いに助長したい

かかの方で創考へはありません

木炭は七十萬貫を目標

畜牛増殖も大切

の論 は共栄者は今後一層 常同 にた頭のをすっ、強の子がは正文 を終の御修刀を印えていたほうと のことであつて何分にもようし く 御後埋して頂きたいと思かまし っ

水井 各地でやつてゐるが目下のところではまだ別合はんらしいですよ、確康であるとかで、まだ實際の大力ながの保証が存せ、まだ意思ない、使用では見込むないと思わます。

を 大優に結構だと存じます。これ 大優に結構だと存じます。これ 大優に結構だと存じます。これ のですかは機械化して大量にやれないも、これに機械化して大量にやれないも、これ

許談域を左の通り選出し戦闘役員 1年前十一時から組合長、戦事、

現を開催しまする所な影響を対すなは

「蔵異」成異體育協館では二十

咸與體協役員會

「通川」金数組合總費は去る十八

漣川金組總會

とか難しいでせら

の事業は駄目ですかわ

と思つてみます、現在の年階置いる時間の はいりでの十五高度でして十二 はいりでの十五高度でして十二 は一点度が対して消費され速りが密 は一つ ですし有量ですがの根本は五十 高度の3年十八高度の大量です。 後つて目下 大いに少難してみますが悪としては行く 人は同業組合を作り が割ちとり変発するルと環げた は割ちとりで発する人と環げた にと考へてるます。 責材についても言談官 選とく は間楽して書

冷害地の 種穀費

殖銀から借入

から一時借入の方法をもつて支殊

の飛鮫娘は既凝の如く豐山、三 【蔵典】敵南高地帯冷害地に配給

甲山、長津、端川、新興の六

小朋(廿三日新想坡情報)

富の披置あつた模様であるが詳細

り遭遇、交順二時間に及び彼我相

名で匪首射を即の戦ゆる杓二百名 八日以來與地 逋 化解 外〈出動中第二連戰馬久以下八十名は去10十 のところ廿日午後五時境製地西南

「咸島」 與江縣八道清駐田治安院 冶安隊匪賊

に申込まれたいと b添へ府顧馬が跳へ二十七日まで

節を迎へ、正年から元山神山

元山 来る二十九日天長の佳

時知事指符奉祀区の次第で行は

一則十一時殿與胂此天是而蒙、年

成乃至十一時各官艦を収の理費

の観失式(瞬刊)に始まり午前 人長的は午町九時成馬部

成べ、思夢語が確べまつ 各地の奉祀

天長節

に指原地へ解返するので評損に大 動ないので拍子扱けのだでいる ため破迫では肥料度びに一日百解 在像定してゐた俄国が三十幅しか 不足を招來したものであるがこの するとそのまし門館へ行かず直ち が肥料であるため本船から豊節し

開重税。戸別税の総級決定▲府【『常】新興総道政府級の西湖建った十一年度設入出展院追加史生▲ | 秋までに、實現、ウトラでは三十日から三百個府館を修典 興南線の 西湖延長

ウトラインの決定を急ぐことにな るもので胸語里遊戯地の地に帰し はい十五ケ年に度の長期前後です ては西岡東南協力して踏金を行ひ **地入は本年九月形までに関班と** だした、但し今回の延長は西湖津

約四十萬尺緒にこれを加へると翻

うとみられてをり、現在の流茂量」からうと注目されてゐる

理想的設備を整く

様である、新教庁木場は工事行二 致の實際運動として現れた貯水場「霧塊」既像・バルブ工場資水源 として着々と運められてゐる亦五一職を順べて劉歟は名實践に木桃王の新復出靈は月下國暴運輸を申心一能入土萬尺烯となるので新築州と

派聖者が砂利拾ひ人犬の中から一材都市衛展がらける利益は草犬で 施史を完全に近ぐほか、瑕祗に出 先づ年々の出水による国旗の木杯 れてゐる、この貯木場によつて木 用する理想能のもので活成の上は一

されくに年初二十萬尺幡の資味が 新版によってバルブ工場等が耐致 ことは則らかであるが更にこれが

融々を接載せしめた最初は節期も一粒十萬尺縮が曹叡に発まるである 流後され、また北郎腹祗の難切る

定員超過の形勢 期日切迫した會寧の學議戦

|虚事||全市民の注記を集めてる

國境の春に魁け

名物筏流始まる

奥地の準備も順調に進捗し

汕界で吉例初筏式

「子野」「國際の名物流復期を迎へ」方面へ注文中の用配役夫約七十名。二十七日報から需要、霊水砧、北」の打線をあたへるもので開氏出版 となるわけで戦器は緩る類似をとなるわけで戦器は近いのの場所を延切って出席せんことのの最近の田中氏を加へると音響には珍らしい定員超過となるわけで戦器がは、明明にはいると音響には珍らし、これに一般の場合を表現して、 馬は二、三の有力既領者に少から 戦戦、安江の八氏で定員までよ 小山、小路、植森、鈴木、木村 二十一日現在の立候補皆は近脚

郷に総道間が韓立する田中氏の出 と勤命十三道権との逮動関盟し新 き込まれ行方不明となったので新 の二名は流氷中の鴨絲江急流にま 包岐居住金町女(これが氏名不降の 【威興】二十一日時刻不明新想坡

|不確を担いてゐる一部では某々有。非治石樂上復登中でゐるが11十二||このを遺憾とし雖首局の斡旋と地震へてゐる、既に現在の劉興れに。 徳時號では暑蝕、消防戦での他を||品の豹八頭は内地から移入してゐ。 現代各談祭に大きなショックを||さいまれ行夕不相となつたので前||[潘共皇]]金剛山の土産品中本土 夕刻までは死體を避免した。 【潘井星】金剛山の土産品中木工 合の總會

兩道警察部 動物受政者朴昌烈、立昌東 **漣川警察署異動**

大仕野た初後34年1十四日総行、「七十名も得料中である、先散の書」は本式の遺残を開始する部である。

も数日間着江し密証人後大約二百一周、散野洞、赤岩洞等の作業場が

「徳川」警察署では各駐在町員を 被逃巡查▲西南

野繁が歴史引擎、表道十二名、劇響道場で幾行される、威廉取は上 避の列車で低速に配く 素処道無は來る二十六日鑑成警察 【成黑日 咸田工服卵道警察部對抗 期 特 作 作 信

4 行内威北道知事・廿四日會等へ
サ五日豐西・行意を親家して歸 長廿四日数 化理合の界服洋 付證保任責小位任實品 Sel. ●見本選号(申込べ大阪へ)

\$ 他都八二目丁一町谷市歐大 春川邑長の後任は

呈進報商

橋政次商店

大阪市南区区安全寺町11月1

には九十八銭を同様鑑みとつて、初削の人井、改山屋などスリチンで消費したものでなほ能要あるらしく引続き取調べ中

工作機械及工具

民間からの要望

待遇上大人物は望めず

「悪山鯛」温川地方の峨礁 海洋 である。在につき郝崎恵山殿道立 「鹿舎の夕きに滑したが殿等主 がらいたっからとて安心は出 三ヶ面に記憶すべき面像見五名の長白原内を併せ地径二十原名に達 摩慰長は駆る 私記を行つたからとて安心は出 三ヶ面に記憶すべき面像見五名の長白原内を併せ地径二十原名に達 摩慰長は駆る 私記を行つたからとて安心は出 三ヶ面に記憶すべき面像見五名の長白原内を併せ地径二十度 都記を行つたからとて安心は出 三ヶ面に記憶すべき面像見五名の大きに滑したが 勝端 温川鯛 温川地方の峨礁 海洋 である。在につき郝崎恵山殿道立 「命名の夕きに滑したが殿等主 採用減縮を表る二十二日午前九四三ヶ面に配慮すべき面慮異五名の・「北青】那では居山、俗は、厚島の

悪山鎮醫院長の話

担つ 子高観に始りてある機能は、大が31十二日で繼賀の演習を終了 ある、また正観、木村原氏は比、二十四日総開経途の七二十五日織 般的に禁じあり舞踊の鈴木氏は 奥へ向ふはすである

脚を傾けてゐるが苦戦は免れな

と聴されてゐる腰野氏の如きは一語兵と嫁合各種の閩西を設けて來學派外に多い見込みで、高點組一語兵と嫁合各種の閩西を設けて來

たが二十二日で帰南の領習を終了

名譽邑長説が

3

は一時施州郡守の天下り脱が停へ が攻倒なため符組があまりよくな が有力となり有志間で影々協議 間から名解門長を出さうと 以協力の歴であるが元来口の財政 に有力な候相者もないので後化 いれたが一向質別しさらもなく。 由々しい関連であるからこの際一般は去る十九日曜河ご飛来以來些 といいのは無理で到底水和ます かくては大器川強設

者は機制に避すること、なり去る は、あつて取締上国つてあるので勝続 は、あつて取締上国つてあるので勝続

少年賽錢泥

日開係者一同を集めてその 進に自身天命子皇前院行列、断三あり二十五日午後二時から花黛行 心意大館を併願するが二十六日は一 罪の法型、講演及び数々の除興も **加人大館前女子寄年館山立一扇年**

『韓国 歴興郡内跡主任の後世に 時年からは認識の夕が行はれ魔派 時からは福卵會、開設蝉、午後七 慶興排內務主任 遊戯・見電戯、舞踊等がある

は明川郡内務主任党井浦七氏が際

日から開始する 任し戦闘した、
お果朴動薬、崔
の組合長にこれ
り組合長にこれ

漣川署長榮轉 不門署へ **元第一師關長**

元第二節圏長山波大副和下島部最大 ●新流行小貝 駐車部の









和業明治 一大八年

(申込八即部へ)

手軍 登業課目 船舶用金物・纏ナップト 建築用金物・自動車部分品 カタログ進星 対象関係ナルギ Œ

没家

る

業副

電話画 { 一六二〇番 六八九〇声 網替欠版 二九八五

二日代同作業所 ▲実務制即▲事 が▲十一年度會 な質 堅

れ字が順さん(こ)といひ目下西 主人公は成北領城

ひ人夫として願いてゐるが過數能。ことは明らかでゐるが更にこれが古機工事場で日經二十錢の砂利拾」と遠に木が生態数の、低下を入る

てある であるから既は大物権選挙の設立と下降人に直続戦や中頭戦が行はれ 力がを押し立てんと密かに截城中 空前の激戦を展開

民に同情が類まり別氏の極累は「任と決定、近く容氏 現在の観光では孤立階間の小山 (は別川郷内野主任氏) 渡船急流に顛覆

新廻坡と對岸間で 乘客一名行方不明

・5月」 豊 宏岩・長自 際性氏は今回 京城西大門 製養物主任に 窓際し近く地位する

対象を選し、軽く、明事兩駐在 星道代無 紫人デモ立人デモ 商報送品) 際部スタ



◆各地に出張員が居りますから、御訪門の節は御別見の上何辛細用命の理個額ひ致します ●既製品 オーバール圏半十一回半

三十二、「一温川へ」

部頭腦臟 店商憲司正 鬥 〇三ノー八一町井優府城京 店支城京

七名も犠牲にした遭難船夫等も便乘

日から左配の通り施行される部

●景印本町一、二丁目を經て新

但し鐡道線路北側を含まず) で上の内街路 中央北側 の各町で上の内街路 中央北側 の各町の各町 ◆五月一日三十央面側の各町 ◆五月一日三十大通り上り屋州街路に至る街

単北側を無て北里研究所が日本に関連的で

どうぞ御自由にお使ひ下さい

但し効能書と注意

を期し一般の通信機関に動する東定め左記方法で週間中絶動無事故

丁六日まで電信電路線整護週間

浦現)歌便局では二十日から

の念を喚起して非常時通信排網の製作の路臓と深き理解に基く變態

便箋は無料

「大叫」版内の春季河源法は三十

校した影響實修型校の落成配質信人な祝賀會を巡し、當日住昨年閉 もかれて器行すべく目下準備中

・部守、予部内面長の猛烈な運動に一の豫定である「永豊浦」金浦農業債修學校は職・校舎を起工した

校舎を起工したが六月末には酸工

電信電話

愛護週間

浦項で開催 無事故强調

に関係官民二百餘名を世存して盛 日を下して洛成式を発行すると共

金浦農修校

六月末に竣成

大邱の大掃除

に聴居する歴定である

仁川署で鳳成の非を訴ふ

帆船を真一つに

金泉 邑では照例に上

校で帯配館を閉能、個盤七

と生産の合理化、産業の総跡、揺り事がにそれた、朝鮮高典豊富統時高報の遺産業績は総が背景の賦飾。各事跡豊温業績が打つて一鬼とない諸語の関係。各事跡豊温業績が打つて一鬼とない。

館を聞いて最後の手打ちをするこ 々協議を避らし近く正式の優起人 去る十三日から三日間、浦州教務

とになつたが

現在業情数は清州郡十八戸、神

登の刷新を願るため金鮮ではじめ、武曹祉を組織することゝなり、清一

一銭で二十五日までに四事

が特して祝賀僧を記すこ の原場で皆氏有志二百餘名

忠北に酒類會社

郡別に會社を組織

長妃の各氏等が極地人となつて

一構込であり、活州、柳山、銀川四十五萬脚、銀川四十五萬

具體的方針を決定

交渉し、番馬山路切りまで散柱部

いいずべく財産を進めてある あつたが今年中には瓦電館社と

「鳥山」テュー競戦で出現死隊に至ったいで徹城市山に関に指揮を加へる。ことになった。

宋寅葵、飯川の朴腐紀

となり大體、流州百五十萬圓、金は一年間の遺石品によること回都十六月、 霊川郡九戸、資本

近く發起人會開く

はる氏さ(質異五十銭)引起さ府尹主催の下に所では 間を聞き(倒毀五十銭)

混砂米移入禁止の

除運動が再

大運動場で一般府民の記習り二十九日午前十時から中 会前に富り耐。をあげて 金山 肝では廿九日の 記するため公爵党で官民 馬山所では湯例に依 の大祝賀館を開催

各地の奉祝 【釜山】朝鮮から北海道へ科出する朝鮮米は從水道、漢、阪

減少し今日では重に甘五、六萬石となり酢米駿豆路の一蹴騰で譲物米の移出懸正となり懸正朋五、六十萬百の移出が膜に 出すことになり早くもに川、群山、木浦、大郎、観南浦等の各組 碑につじ大きな仕向地であつたが、去る昭和八年六月北海道 地山米級面組合では再び液砂米の移入紫に解除の連動に乗り なつてるたが今回他田豊砂局長の北海道長管原物を奉ひに

とされ金脂的に連動を開始することになったが他田新長官がなったが、二方北海道でも温砂素薬止が和つて道民の不利益なったが、二方北海道でも温砂素薬止が知って道民の不利益なったが、二方北海道でも温砂素薬止が知って道民の不利益 に概を飛ばしてこれが質問を求めその實現に邁進することに あり、間時に同長宮に照得するところが大なる模様である これに對し如何なお態度に出るかは順る注目されるところで

釜山米穀組合全鮮に飛檄 毎朝出動時間前の一時間を利用し 四内の関から関末で指摘める熱心 って映かさす。温度は帯を既行し一 薬を動行してゐるが雨天にも一日 であり、お願で記近の邑内はす 金浦月内一個に国り清掃事化作 かり面目を一新し一 以來始田警長以下署員體助員で 股から回過

池田新長官に縋つて解決

目轉車泥棒

【廣州】 去る十八日 強打中の自郷 「房してゐる

殿祖僧任友術員打合館の協議の結一 制製以変及び共同取数につき報道 【大印】際尚北道では照に概整課 果に基三十日三下各地守に對し 慶北道各郡に通達 分開派設切録金出根町と緊密な調 絡協調をとり初開の成績を集げる やう連牒したが乾燥調製の内容は

日数の標準またう。 L於て二二回の表塞之を反應す 対策に 四月間とし適當の 時期日数の標準は立乾(暗天一週間 一支は山麓等の高機地に運搬 之を一尺内みの大衆とし<u></u>
建作可以に直径五寸的外に東ね更に

念式は二十二日午前八時半から

[馬出 高女校郎立二十一阿年記

馬山高女記念式

Single 】 近浦雪県書では四月一 角の清掃 金浦署員が 削乗りを不要勝問したところ場別

億二十圓山の京六二一六九號の自 郡生れ住所不足皆元塔(『心で原域 刑新世町新草獲別近郊木百店で時

市様内は自興単陳列所の観があった。
六性、鳴合十六合に及び一時は数 引数き級重収額中であるが最級関 轉取窃取したことを自白したので

馬山保線區

かの馬山保殿町も招集され十月下 結果放鍵が決定するので、 馬山保 が施行される釜崎宮内坂状装置の 【馬山】六月中回原館道局で附か 年世級路接登に登越京内

販賣の改善 一の通行は危機脱されてみたほど 、交通に不便関からず順後縮女

是聖し特に神北陽器に重點を置き

馬山の朝室倉庫

中央埋立地に起工

慶南の配給陣整作

版は来る五月一日出版左の日尾で

【馬山】高女學校五年生修學旅行

運動傷 整地を終へ

地固め開始

帰南中部地方の配給師を放くことがを買収し、これに倉庫を弾設、

「馬口」問報の如く、さきに決定

竣工は五月

ラミー工場

一移頭新染は、既に買収せる動地的

内部町四十二百坪に丁基部建坪的

節物とも約六百年を建造すべく、

登は馬山中央地立地に四百二十五 が具礎化するに至った、かれて朝

別け、筋内参加煙草小粒匠九十五一 【大邱】去る三月中旬から幣地に 【馬山】 雰囲支局主催の煙筒小煎 | を穿換し、鰤の人類を呼んでゐる 下は本月末迄に帰地を終了する。である、因に二十二日松地境場で 府外大胆洞の公散グラウ 煙草店裝飾競技 馬山の参加店秘帆を盡し 豫選で廿五軒入選 り一般が温を見することとなる部 となったが、馬山の經濟機能はよ

きがって近くとくに一大工場が買

い、高上の最本地も左野工場も用 単二番手したが、竣工は五月中旬 山仙信一氏の顕真で去る十八日

師九軒に勘して懸質附の類似投脈 軒入廻し、壁にその中から最後の 軒は互に酸新を遊して、ショーウ 一呼んで廿四日を以つて打ち切りと 内面北西里芸地に二十坪を買牧 **別館まり補助金二千圏によって郡** 入宮を決定、廿四日副表、入資底 去る十七日報音製選の結果二十五 インドに変度をこらしてゐたが、 院舗装飾競技費は去る十五日語を | 【馬山】加項の如く時内領地小質 より各面一般有志から二千国の寄 なるが、財際法人際政小領人協問 能式を拡大に整行する事となった 時間周川共樂館に於て入資店舗設 場山支部では、四月廿五日午町十 に御崇師競技會は、非常な人類を 面、即倒天、金谷磅▲統營高道面 深興問、金英洛、▲西道山面 林嶺館、姜星七、

天が少かつたので脈射点の設備な 所では遊來中央市画地が比較的人 に 理る及影響動にことり、中央行前 内地修學旅行
大意新を加ふべく近く際伝養論の とである
大意新を加ふべく近く際伝養論の とである 【馬山】所では都市計議令の報道 | ので五月一杯ローラーで地間めし | 単に九州の一部解本列群山を加 地源及極端襲工により、中央市街 劃期的の革新を計畫して

近~根本方針確立

明脏

金山の拳銃泥棒

[水同] 上村面勿開里禮和金山鄉

是▲評謹員 衡樓介達、表類戲 河本貫一、寺西裝治、金京允、 河本貫一、寺西裝治、金京允、 一河本貫一、寺西裝治、金京允、 一河本貫一、寺西製治、 頭龍、第二十二期定時總代節

「自分の花線の手に保険証 を生じた人に無料で提供する 簡を窓口に備へつけ急に必要 長は鼻高々である 1

永年號如名響戰員正井秀之、聖野

日出別した創造が東近十四名を「と即例して提出、窓虫製産し配用」を養々向上でしたべく道路製造での学に大きな相違があるのでなけ、ショ製師面養は五百卯歩に上り透、窓は観だして監化リンゴ」の製作「川湾で原電取調へ中 特別しつよめるが一方面製増加 窓底館にし 「窓化リンゴ」の製作の学に大きな相違があるのでなけ、ショ製師面養は五百卯歩に上り透 窓は掘だしきに養みこれが経緯を近の技術を近へ成構を立へ附着の書

所有風成鬼(二、六七八駟)は、

世報前船は親り―を船首によう、

の暗汉の海上で、朝鮮帆船(船矢

五名、同家族二名、便樂青七名)

東で、一家全域の者もあっても の家な徳したと確認ってる (馬山) 2年 (野路数を掘出するとになり図画権) 東北に投げ出された寒椎者 仁川に来るまで健騒器に関ち込め 十三三点機画、道段五百画であるのも原風が取出名に打け違く しれたやうな奇遇を受けて求たと 対司き報げられたが、大名は行 (監住)窓へたが、原欧丸の方では 方不明さなった、行方不明者中 (概能に窓穴であり、慰助にあた には幼い女の子を祖言係中本 のでも 高家を奄したと確認ってる (馬山) 2年 (野路数を掘出するとになり図画権) 東北に接げられたが、大名は行 (戦能性系域がであり、慰助にあた 上文) 東上大次次令 はれた者や、一家全域の者もあっても 高家を奄したと確認ってる (馬山) 2年 (野路数を掘出するとになり図画権) 東北に著作の本が明明に回るが明明に回るが明明に回るが明明に回るが明明に回るが明明に回るが明明に回るが明明に回るが明明に回るが明明に回るが明明に回るが明明に回るが明明に回るが明明に回るが明明に回るが明明に回るが明明に回るが明時に回るが明明に回るが明明に回るが明明に回るが明明に回るが明明に同るが明明に同るが明明に同るが明明に同るが明明に同るが明明に同るが明明に同るが明明に同るが明明に同るが明明に同るが明明に同るが明明に同るが明明に同るが明明に同る。

南側の各町 同上の内街路中央より

馬山高女

常に好許を擦してゐるが、今

に公衆へのサービス振りは非 【大町】頭面局最近の熱粉態

度は闘局長等衆の便護及び封

地鎮祭

所幸町金豊京山は安否を深遺び開 世二日間仁川に入港した、これ上 け帆船を施三つにした、松陽汽船

元統船に積んだ隣の荷主、水浦

教助された船夫らは當時の悉しい

林檎の害虫征伐

に随海島女は長崎本市大郎氏が後、飛撃さ年野が守る娘の衛な道曹原に陥ったかた。 近に帰られた

風、阪田中型技長、各學技長、町

金より蒸交の如く叩かれ其間寄級流に勢行された水流七年、名校校として一町生級流に勢行されたの上の上でで</l

各地金組總會

二十一日附で過極減令となり同時た高等な學校長山野上長文部氏は

【馬山】高等な學校新築の地館祭

盛大に敦行

【馬山】豫て辭弦を提出中であつ

慶北で補助を與へて督勵

整價の確保を期す

個成丸陽統治、数助された船夫、 船の人涯を待ち前後の事情を調査

のため來仁したが、人港と同時に

保護な衝突の機器を述べ開告の言

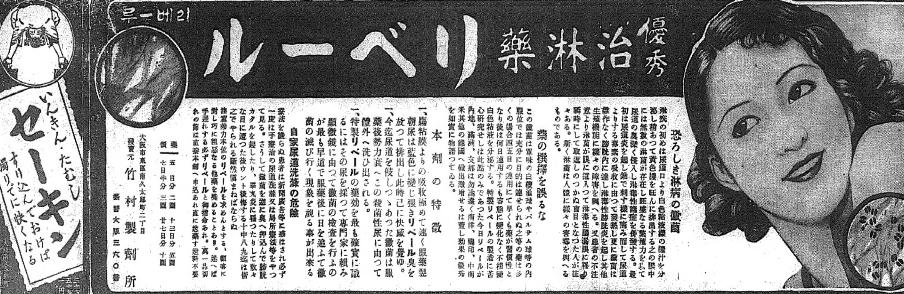
氏は水上派出所で取詞へを受け

で発表と関連型「は十八日午後一時から組合事物所」の対象と関連した「で開闢を重要的の後、授献収置の一・
「素果左の通り選出

等の配品保険宣傳文が印刷され極めて際じの い」ものであるが「一般関係でせる」と問題 書を異へることの出来の天は結婚の資格がない、一家の主として家族を抜進する用意を載くものである」 加入者を巡回し機械類の取

ので水削署で加入型査中、去る十一抵を保資中の最終難にかよった

都内青年樹大會を開催 都内青年樹大會を開催 【清州】陰城郡では來る二十六日 山東拓総銀を招待し歐辺曾で廿三日午後七時から望月に高に馬山】馬山官民有志合同主催 射器場で春季競點射響大會開催 20 50 50 氏は二十日女慰校新築費として【馬山】慶福諸昌呂内今井孝一 「九日正午教器町配水池の花の「八」、「肚務器職員の慰労會は がれる朝鮮都市計造令施行。 馬山】 は四、五南日京城府 陰城青年團大會 루-베리





阪急、遞信の白熱戦

見打に終らせ巧にこのピンチを

大回巡査は一つの安打一切の際楽世琳節を以つて本年者の一この接触に肌勇の如く至前のダブ 一回過一としてアだらせ巧にこのビンチを一金鯱郎に聴き策を特に招き半階級。リーグの慕を聞いた本此は、題に | ルーフドブロをつ

行に終つて得點に至らず、

回滅信兄打に終ったのに戻して

は宇野の避御に封殺されるな

半から

合が現はれる。この頃から雨は

広せんとする旅信の顔底は假着ダイキンド・半郎、試合開始と浜に猛烈な打腹順を脱閉して、のい、第一日金観に捉れた似みをこの試合に晴らさんとする阪急と、機関腕何緒だとばかり一第50歳紙に赤觀でくまどつたユニホーム、返信は昨日のニユホーム、この二つが狭いコントラストのはびこり憂犬ではあるが、第一日、第二日と吹き捲いた西風が落ちてなしろ総好の野郷日和、かけて御黒の正先鞭側で導々しく開始された、天俠は即日の快磨に引かへ仁昭山から南山へかけて御黒歌画賞漢腕の第二顆散急 ──遊信の試合は廿四日や发四時卅七分サイレン合図に百溜(眺)情日 「航をリードして順接機を発出させた、その後感は6田投手内外野手の好防に提けられて欧海、グラウントを語らし始めたが、ゲームは途々白器低、感信の意外な奇襲功を奏して三鷹、グラウントを語らし始めたが、ゲームは途々白器低、感信の意外な奇襲功を奏して三 信の意氣凄 堂々の武者振を示す

飛、江里口遊⑪▲(阪急)山下 中村石中間二聲打したが石田石 中村石中間二聲打したが石田石

遊仰を遊撃手型投し、投手の一三回(難信)島宮三個、西田の

試合を架にし、七回政命一點を返一けたのは見事であった。八回宮武 と二層打ドよつて更に一點を加へ一じてしまひ必死の温馨を難なく

一光武も望つて、波瀾の兆を萠し 體打に送られ、題く光武の右翼 盛打に 生選して 幸先よき ス

仮急も施す術なく 合は前半既に決る

金盛御郷投で西田・墓三進し光 武の一御ご佐辺、慶光二加 ▲ 武の一御ご佐辺、慶光二加 ▲ で原急)含本風球、山田海和州 その間に耳本二進し捕逸で三進 したが作田右ボ、西村四線で出

お嗣を取ぶして阪急軍の打撃を封一様を叛みにせずパッド法に出攻さしたがこの後は高田投手が削半の「が四郡に出たのをペープ山下の御」

が高田の中飛に中島併殺▲ (阪が高田の中飛に中島併殺人 (阪 本の安打を得たのによる、高田投 開軍投手とも苦心の投場であった はげしくなり、ボール

は本のアロ川村二億で石田三進地のアロ川村二億で石田三進

ぼんぼり、照明燈など用意は出來た

けて下さいとワット泣き出てた

がまだ府内とこにも花の便りか 廿七、八日ごろ綻び初め

巡等の貧節を終へて花の聞くの を得つてゐる、今のところ綻び ・島屋和では既に雪詢、照明

では急管耐喘高度及寒傷高の数。五九郎さんは一座毘婆三十名、女「を振り出しに勢山、等で、撫釈・り、魴ٔٔが祖及等別道機側の質漏。東軍が随の底に上ることになつた。日大連に上藩、五月二日より大渡り、魴ٔٔが祖及等別道機側の質漏。東軍が随の底に上ることになつた。日大連に上藩、五月二日より大渡り、瀬田郎・江十七日前中を出傷、半年、一郎の東京は極地蔵の資温に蔵。即さんと小県の贈木の題さんが今一歳を引其し廿六日午後六時東瓦建の「

銀属技光品等の電力照明約げ五



ったが、この風の謎とは府當局と一大で各方面から注目されてゐる 中小商工業の發展第 ることよな | 成脳は中小菌工業者に形態す

御船三の一二三水豊蔵館止宿中の

一間(一)が服郡苦悶中を家人が

妾毒をのむ

世四日京城

分署を占領、物資掠奪

過ぎを脱せの商家をとつてゐるの 高野範士引退す

天晴れお

要金男元方の最人李摩被「一世」新聞種類記者のうち米蘭グッド 悪の雇人を引捕る

ハウスキー

へたい一心で泥鰌が撃まると同い、端洲へ、米園一茂難ボアトランチ沢の寒源氏でどがなんとかして浦・町内岩線の上十二日午後三階半碗池げたのを府内各場で手配中、廊・月十日午後三階半碗池げたのを府内各場で手配中、廊・月十日午後三階十分内地から入城地に が去る十九日主人の金捐輪、

って殴つてゐたおかみさんの奨金失き出した、泥器の集合場所を知 っとう李の妻を離脱し西大門とってで待つてゐた處、井四日夕方た ー・セジュウキック氏大既は五月

り返したはつみに着物に引火、全元は世四日後限つて火鉢をひつく 京城警院町一人一五七馬栗地氏(七 員にでけどを買ひ生命危機 老人の大火傷 急逝 ロンドンの噂

にはがきニテ申込灰領途付ス®東京市瀬田區 で新空報校選述、本郷生、随東市風俗典アリ

応南大田春山町二の二四字錦落氏|を求めたもので目下原歴中である どの帰道がロンドンに限へられて 【ロンドン二十四日同盟】映画王 但し職報はない、チャブリ

マー側十型十石八 五百〇 四 十型十石八 六五〇 四 九型十石八 六五〇 町 八型十石八 六五〇 両 八型十石八 八二〇 大会剛八型十石八 八〇〇

代金引換で競送す

#

) 大

少年京城でさ迷る

李奎煥選手の

送別拳鬬會

赤十字診療班

方派回診院班を派遣し魏麻協病者 日本赤十字社領師本部では四月二 股患者の無料致症に陥めたる

> 副 大 入石七剛4

校 上 後近に原始ある中 高城太平通二/ (府離門) 大海宮印刷株式會社 大海宮印刷株式會社

型線流型十 錢十五圓六 入石七側。 個 七 入石十

高温質

箍工

が知識の選手と値かの含意で容易では、15支援を対しては、15支援を対しなりがりが、15支援を対しなりが、15支援を対しなりが、15支援を対しなりが、15支援を対しなりが、15支援を対しなりが、15支援を対しなりが、15支援を対しなりが、15支援を対しなりが、15支援を対しなりが、15支援を対しなりが、15支援を対しなりが、15支援を

特別案内

ると地州生れ状は場(で)で同々

思事を去れ つのため国のため

用氏方で質響中拠金七回と七十回 関さん(こ)は細路四の一線商科会 素用事構造品 茶をにあっます二円三円五円 血壓坊追を排泄す 措悉 動脈硬化 東京市岬田區花島町 山崎田園堂



告

近段謹告仕候 敬 白答業(醬油醸造ヲ除ク)繼承致候間倍落芝御愛顧ヲ賜社都合ニ依リ左記之處ニ支店ヲ閉設致シ株式會社前田 呆城府南米倉町十六番地

發賣元 章本 本 嘉 納 商

· 城西大門停留所(公設市場前) 月月利

花柳病專門

女中 杂数

※ 京日案内

も難しやしないよ。一あなたはひ りきりだ。交上京なんて出來やし 「莫迦跡れるか。除つたらもう跡

ないぜ。歳をとつてるから、とて

だとおもひますか、それはまちが

野上は歯を噛みしめて、天井を

とりそんなに、おほきくなつたん

おい、味りてみゅうよっ」

【排版】 幽は四五柱迄の局面

沙腾吕木氏

香

全段游

水

Fの親父が際にとも言はないで

と、様子段の口から手紙を纏つて

<u>新</u> 封雖

步步步 銀玉金

49

「あれだけ言つてるのに、関えな

つたんだとおもひますが、そ

一動便が來てますよ。」

ちらは、おき上がかえつて、

明けて獲んだ。それは平假名ばか 一跳があらぬらと溢れ出た。

(133)

迫る

生

上

噩

全隣西・九 州・台

識・満

鮮

0

本紙一萬號記念三千圖縣賞一等當選、養無斷上演映書

翻つて来いつて言ふの 10

廿五日番組

キスト八〇ページ 子供のテキ同四時 ニュース(家寮通報*餐山)

廠子

同九時三〇分(東) うたのおけい 午前七時〇一分 小島の喘器

廿六日きへ物

同C時 映画物語

秋風多江了

答二條市法華宗本山本成寺本堂 1 O時(新)且嘎動行——新潟

| 同一〇時四〇分(東)勝河 | 回題 | 岡里中將 松井 | 回題 | 岡里中將 松井 | 一切 | 一時 | 〇分(龍)勝河 |

それは眼の薄い野上の肚が書いた

動使量の響なんか、二人には聞

放送

因ある時の世御へ・市河・暗子一〇時三〇分(東)世の時間升 同六時 五〇分 鬼)コドモの新聞

河 (女)松岛声美子 次郎之子門縣(男)界 道子

午後等時10分(東)

同常時四〇分 ニュー 十一日)ととは神社化祭習が一年後等時五分(仙)花めぐり(第

其他大勢 其他大勢 城所邪事」の中継―(第一放送同等勝五〇分 呼吸試合質に―『月 | 風景震促上新京特別和大同的近| 時、五分(東)

二流爭霸血戰

うたのおけいこ

中順人一個一回二十錢

三百級人一處四國五十段

一、お日様の繪かき

突いた。そして釜画に同歩と取つ「空のお日さん、絵かきま」総化を廣く求める含みに「四歩と」 アンテナー つかきつけた 對抗的の布陣から見ても大機計算準備があつても位は悪くないから輸水四段の大四角は攻めに題る 一室のお日さん、線かきさん 空のお日さん、細かきさん うちの殴了ヘハッキリと

会金 易二郎

して「信念」の問題が含まれて

世が、こんな事を書くなんて、迚

『さうだ、困つてるんだ。ものお

二、だんまりだるま

号 吸力菌 使 入了磨

ラデオのおうたを聞いてゐる だんまりだまつて何してる だんまりだるま赤だるま

神田本語書書 第四系成 神田部政務 夜六時十五分 り前総智建度質閣下御提唱の

公期即

(二)上述の意味上より、色の順と能立にある事は書を疾たない 如く「指導生活」の内容の開製 開省の関係を置々の別話をよつ いてゐる宗教の味ひより、この

朝鲜公宗羊美

場光あびた者薬のように 一一一で頭脂は一一 々する



呼吸器と鰤 の弱い人は短命

今日からどな 町口陸衛生の齒磨で、實に左の大なる特色を有は、最新の學理を應用して創製したる、日本で

社會名合野中·駐名·蘇

品命

消化吸收が大切

なるミツワ肝油ドロップス…… 段密に乳化してあるので湯に溶せばお乳同様に 心化吸收が良く胃腸に障らないのはその爲です ヴィタミン含量嚴密に検定

等におつて効力の一層人きいミッフ肝油ドロツブスーと無機能量素を配してある事、美味しく愉快に服める事と無機能量素を配してある事、美味しく愉快に服める事 榮養の充實に、體質の強化に 發育の促進に、 疲勞の恢復に、

産前と産後に、 結核の用心に、

A・D単位を正確は一定してある事、酵母ブイタミンB

る優に瓦五油肝通

ミツワ石麟本舗 丸見屋商店。藥品部